

フィリピンの大学ディレクトリー

(コンピューター・サイエンスおよび情報技術分野)



JETRO

Japan External Trade Organization

2024年10月

Copyright © 2024 JETRO. All rights reserved. 禁無断掲載

目次

I. はじめに	P. 1
II. 本調査について	P. 2
III. フィリピンの教育システムについて	P. 3
IV. 学生の就職活動と海外における就労について	P. 6
V. マニラ首都圏及び近郊のIT系学部を有する大学について	
1. アダムソン大学	P. 7
2. アテネオ大学	P. 9
3. イースト大学	P. 14
4. サント・トーマス大学	P. 16
5. デ・ラ・サール大学	P. 18
6. マプア大学	P. 26
7. ファー・イースタン大学	P. 28
8. フィリピン大学	
8.1 ディリマン校	P. 30
8.2 マニラ校	P. 35
8.3 ロス・バニョス校	P. 38
8.4 オープン・ユニバーシティ	P. 41
9. フィリピン工科大学	P. 44
10. フィリピン工業大学	
10.1 ケソン校	P. 46
10.2 マニラ校	P. 48
VI. 参考資料	P. 50

はじめに

ジェットロでは、高度外国人材の採用・育成・定着に関心のある企業に対し専門相談員によるハンズオン支援を行っているほか、必要な情報を網羅するポータルサイトの運営、合同企業説明会の開催などを通じ、国内外の日本・日系企業の人材多様化を推進し、イノベーション創出や国際競争力強化に取り組んでいる。

今般、ジェットロ・マニラ事務所では、デスク・リサーチやヒアリング調査を通じ、フィリピンの教育システム、フィリピンの大学生の就職活動事情、IT／コンピュータ・サイエンス学部を有する主要大学の基礎情報を網羅した「フィリピンの大学ディレクトリー」を取りまとめた。日本において高度外国人材の活用への関心が高まる中、本ディレクトリーが、いっそうのフィリピン高度人材の活用や人材不足解消へ向けた大学・企業間の連携の一助となれば幸いである。

2024年10月
ジェットロ マニラ事務所

1.調査手法と調査対象

- 本調査レポートは、フィリピン高等教育委員会、各大学、および、大学提携先等がウェブサイトに掲載する公開情報、または、大学から本調査レポート作成のために提供を受けた資料を元に作成している。
- 調査対象とした大学は、次の2つ条件により選定している。
 1. マニラ首都圏または近郊に所在し、IT、コンピューター・サイエンス系の学部を有する大学
 2. QSアジア大学ランキング、世界大学ランキングといった大学ランキングサイトで、フィリピンにおいて上位にリストされる大学10校を対象とした。
- 調査実施期間は2024年4月～9月である。

2.本調査レポートの構成

- 各大学の情報については、①大学の概要、②IT／コンピューター・サイエンス系学部の内容を網羅するよう構成している。①では、大学に関する基礎情報に加え、日本語コースの有無、大学のキャリア・フェアに関する情報を記載した。②では、学部の概要、取得できる学位、学部の在席生徒数と卒業生徒数、認定資格等を記載した。
- デ・ラ・サール大学とフィリピン大学については、両大学より提供のあった、学部の教授陣と関心分野にかかる情報、研究事例等についても掲載した。また、フィリピン大学については、マニラ首都圏及び近郊に、複数の分校を持っているため、それらについても情報を掲載している。
- 巻末資料として、提携・交流関係にある日本の大学名について、デスク・リサーチにより判明したもののみ、記載している。また、これらの提携・交流については、必ずしもIT／コンピューター・サイエンス学部間で行われたものではなく、他学部も含めた提携・交流関係にあることに注意願いたい。

3.ご利用にあたっての注意事項

- 各大学の情報はヘッダーの色分けにより区分している。
- 各大学の学部については、大学によって、Department、Institute、College等、様々な表現が使用されているため、本レポートにおいては、これらを全て「学部」と翻訳している。
- 本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェットロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェットロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

教育制度

フィリピンの正規教育は、義務教育と高等教育から構成されている。義務教育は、K-12 システムに従い、幼稚園から 12 年生までとなっている。義務教育の最後の2年間、または高等学校では、生徒は STEM (Science、Technology、Engineering、Mathematics)、会計・ビジネス、芸術・人文科学、社会科学など特定の分野に焦点を当てた科目で構成されるコースを選択する。

K-12システムにおいては、生徒は義務教育修了後に就職を目指すか、あるいは高等教育を受けることが期待されている。

高等教育機関

2023 年現在、フィリピンには、学士号課程および大学院課程（修士号、博士号）を提供する政府認可の高等教育機関が 2,410 校ある。^[1] フィリピンの高等教育機関の 71%は私立機関であり、その大半は宗派系または宗教教団によって運営されている。公立の高等教育機関は、すべて非宗派の機関であり、州立大学・カレッジ (State University and College : SUC) と地方大学・カレッジ (Local University and College) に分類される。^[2]

フィリピンの高等教育機関は、第1学期を8月から12月、第2学期を1月から5月とする半期制を採用している。ただし、一部の高等教育機関では、3学期制または四半期制を実施し、学校暦を調整することが認められている。フィリピンの高等教育制度は、学士号（通常4～5年）、修士号や博士号などの上級学位、準学士号（2年）に至る課程で構成されている。

高等教育規制機関

高等教育委員会 (CHED) は、国内における適切かつ質の高い高等教育の推進を担う政府機関である。

CHEDは、プログラムおよびカリキュラムの監督機関でもある。ただし、CHED から自治・規制緩和のステータスを与えられた私立高等教育機関は、許可を得ずに新コースを開講することができる（医学部を除く）。このステータスは、教育、研究、エクステンション・サービスの提供において、常に模範的な実績を示している私立高等教育機関に与えられる。

1 <https://ched.gov.ph/2023-higher-education-facts-and-figures/>

2 <https://ieducationphl.ched.gov.ph/types-of-higher-education-institutions/>

フィリピンの教育システムについて

高等教育の現状

表1は、CHEDの最新データに基づき、2018～2022学校年度ごとの在籍生徒数と卒業生徒数を示したものである。

高等教育機関に在籍する学生数は、2018年度から2022年度まで継続的に増加している。2020年のCOVID流行による閉鎖の中、入学者数は2019年度から2020年度にかけて6%増加し、2020年度から2021年度にかけては再び22%増加した。

表1：高等教育機関における在籍生徒数と卒業生徒数（2018～2022年度）

学校年度	在籍生徒数	卒業生徒数
2018～2019	3,212,542	796,576
2019～2020	3,408,425	491,483
2020～2021	3,638,821	345,110
2021～2022	4,443,217	666,298
2022～2023	4,792,160	N/A

(出所) Commission on Higher Education

*数字には、学士号取得前、学士号取得後、学士号取得後が含まれる。

*人数は各教育機関から高等教育委員会への報告に基づく。

しかし、卒業生徒数は2019年度、2020年度と2年連続で減少している。2020-2021年度の大学・カレッジの退学率は15.9%であった。この率は2021-2022年度には37.79%、2022-2023年度には40.98%に跳ね上がった。2023-2024年度については、CHEDは35.15%という退学率の低下を予測している。

フィリピンにおけるコンピューター・サイエンスと情報技術教育

CHEDはBSコンピューター・サイエンス、BS情報システム、BS情報技術に関する方針、基準、ガイドラインを作成し、推進する。これには所定のプログラム仕様、目標、卒業生の職業などが含まれる。プログラム・カリキュラムは、ガイドラインに基づき、プログラムごとに最低合計146単位が要求^[3]。

CHEDデータに基づくと、IT関連分野（例：情報技術、コンピューター・サイエンス、情報管理など）の卒業生数は2018～2019年に81,668人を記録した。2019～2020年には47,327人と減少し、2020～2021年には30,492人とさらに減少する。

[3] <https://www.pacu.org.ph/wordpress/wp-content/uploads/2017/06/CMO-No.25-s2015.pdf>

ランキングと認定

フィリピンの高等教育機関5校が2025年QS世界大学ランキングにランクインし、フィリピンの高等教育機関56校が2024年THEインパクト大学ランキングにランクインした。QS世界ランキングではフィリピン大学が高等教育機関の中で最高位（世界336位）、THEインパクトランキングではアテネオ・デ・マニラ大学が高等教育機関の中で最高位（201位～300位）であった。

また、高等教育機関やそのプログラムが質の高い教育水準に達している、あるいはそれを上回っていることを認定する国際的・国内的なアクレディテーション機関もいくつかある。

認定機関

フィリピンにおいては、大学とそのプログラムが、政府によって定められた最低限の要件を上回る高い教育基準を満たしているか否かを評価する認定機関がある。その認定プロセスは任意であるものの、大学は幾つかの基準に基づいた認定ステータスを得ることができる。現在、高等教育委員会と教育省によって3つの認定機関が認可されている。ここでは、主要な認定機関であるPAASCUとPACUCOAを紹介する。

PAASCU

フィリピン高等教育認定委員会 (Philippine Accrediting Association of Schools, Colleges and Universities (PAASCU)) は、加盟校の認定と学術プログラムの認定（質保証）を行うサービス機関である。PAASCUは認定機関連盟(Federation of Accrediting Agencies (FAAP))に加盟している。PAASCUは、教育機関全体、あるいは、情報システム、情報技術、コンピューター・サイエンスなどの個々のプログラムを認定する。

PACUCOA

フィリピン大学認定委員会 (Philippine Association of Colleges and Universities Commission on Accreditation (PACUCOA)) は、民間の認定機関であり、教育プログラムがその教育運営において優れた水準を維持していることを評価することにより、教育機関に正式な認定を与える。PACUCOA は、FAAPに加盟している。

FAAP基準：

候補ステータス：2年以内に認定ステータスを取得する能力があると連盟/ネットワークが認定したもの。

レベルⅠ認定ステータス：正式な調査の結果、初回認定を受けたプログラム。

レベルⅡ再認定ステータス：再認定を受けたプログラム

レベルⅢ再認定ステータス：再認定を受け、連盟/ネットワークが定める追加基準/ガイドラインを満たしたプログラム。

レベルⅣ認定ステータス：フィリピンで非常に質の高い学術プログラムとして高く評価され、海外の優れた大学の同様のプログラムに匹敵する名声と権威を持つ認定プログラム。

その他にもIT関連のプログラムに特化した地方・国際認定機関も存在する。

フィリピンにおいては、PICAB (Philippine Computer Society Information and Computing Accreditation Board) が、国際基準を満たしたITやコンピューター・サイエンス・プログラムに対し認定を付与している。PICABは、ソウル協定 (Seoul Accord) の暫定メンバーであり、専門的な実務に対応できる卒業生を輩出する、認定されたアカデミック・コンピューティング・プログラムを認定している。

また、工学技術認定委員会 (Accreditation Board for Engineering and Technology (ABET)) は、国際的な非営利非政府機関で、自然科学、コンピューター、工学、工学技術などのプログラムを認定している。

ABET認定プロセスは、自然科学プログラム、コンピューター・プログラム、工学プログラム、工学技術プログラムの4つの認定委員会によって実施される。各委員会は、特定のプログラム分野と学位レベルについて認定基準を定めている。

学生の就職活動

フィリピンの学生は、主に2つの方法により就職活動を行う

1. 大学プレースメント・オフィスを通じた就職活動

高等教育機関の卒業生が卒業後に就職を希望する場合、いくつかのプラットフォームがある。多くの大学やカレッジには、学生の就職斡旋に特化したオフィスやサービスがある。これらのオフィスでは、全学的または学科的なキャリア・フェアや、キャリア診断セミナーを開催している場合もある。本ディレクトリーに掲載される大学のうち、フィリピン大学オープン・ユニバーシティを除いては、学生向けに独自のキャリア・フェアを開催している。

このディレクトリーに掲載されている大学の中には、独自の求人ポータルを設けているところもあり、企業や産業界のパートナー企業が学生向けの求人情報を掲載することができる。また、インターンシップやOJTをカリキュラムに組み込んでいる大学も多い。

2. オンライン・プラットフォームを利用した就職活動

LinkedIn、JobStreet、Kalibrr、Indeed、さらにはFacebookの就職グループといったウェブやソーシャルメディアは、学生が就職活動をする際によく利用されている。

海外における就労

フィリピンには多くの海外労働者（OFW）がおり、海外からフィリピンへの送金額は、フィリピンのGDPの約8.5%に達する。フィリピン移住労働者省（DMW）によると、日本で働く文書化された海外フィリピン人労働者は約30万人である。

海外での就労は、フィリピンの法律により高度に規制されている。労働法によると、海外の雇用主は、労働長官の認可を受けた委員会や団体を通さない限り、フィリピン人労働者を直接雇用することは禁じられている。雇用主は、フィリピン海外雇用庁（POEA）の認可を受けた雇用・人材紹介会社^[4]を通じて雇用しなければならない。但し、外交団や国際機関は除かれる（外交団や国際機関では直接雇用が可能）。

また、その他にも専門職や熟練労働者の直接雇用が認められる場合もある。但し、OFWの直接雇用にあたってはPOEAから許可を得る必要があり、かつ、1社あたりのフィリピン人労働者直接雇用人数は最大5名までが許可される。^[5] このように、日本で就労するほとんどのOFWは、雇用・人材紹介会社を通じて雇用されており、直接雇用されているOFWは全体の10%のみである。^[6]

DMWは、ジョブフェアを通じてフィリピン人が海外就職を目指すための機会を提供している。2024年8月、DMWは初の日本就職フェアを開催し、5,000人以上の求職者が来場した。

[4] [https://dmw.gov.ph/archives/laws&rules/files/Labor%20Code%20of%20the%20Philippines%20Provisions%20on%20overseas%20Employment\).html#:~:text=for%20overseas%20Workers.-,ART.,by%20the%20Secretary%20of%20Labor.](https://dmw.gov.ph/archives/laws&rules/files/Labor%20Code%20of%20the%20Philippines%20Provisions%20on%20overseas%20Employment).html#:~:text=for%20overseas%20Workers.-,ART.,by%20the%20Secretary%20of%20Labor.)

[5] <https://dmw.gov.ph/resources/dsms/DMW/Externals/2022/FAQ-POPS-DIRECT.pdf>

[6] https://philippines.iom.int/sites/g/files/tmzbd1651/files/documents/iom_direct-hiring-report.pdf

1. アダムソン大学

アダムソン大学(AdU)



写真：アダムソン大学提供

大学情報

住所: 900 San Marcelino Street, Ermita, 1000 Manila

設立年: 1941

分類: 私立、宗派

Eメール: webmaster@adamson.edu.ph

ウェブサイト: www.adamson.edu.ph/v1/

電話: (+63) 2 8524 2011



17,768

在籍生徒数
AY2021-2022



N/A

卒業生徒数

概要

アダムソン大学は、1932年にギリシャ人化学者ジョージ・ルーカス・アダムソン博士によってアダムソン工業化学学校として設立された、マニラ中心部にあるカトリック大学である。1941年に大学となり、1964年にミッション修道会（ヴィンセントィアン）が新たな所有者兼管理者となった。

アダムソン大学には10のカレッジがあり、工学系に強みを持つ。アダムソン大学は、留学生の受け入れ、海外の機関や組織との提携、世界各地への同窓会支部の設立など、グローバル化を進めている。

アカデミック・プログラム

建築、経営学、エンジニアリング、法律、教育とリベラルアーツ、看護、薬局、科学、コンピューター・サイエンス



2024 QSアジア大学ランキング
世界551-600位
フィリピン第5位

日本との関係

日本語コース

- ❖ アダムソン語学学習センターが日本語クラスを開講している。
- ❖ 日本語基礎は、情報技術学科の学生の選択科目として開講される。

日本の機関や大学との関係

AdUは2016年から帝京大学と提携している。

リクルート情報

キャリア・フェア

頻度：年2回（学期ごと）

<https://www.facebook.com/ustcounselingandcareercenter/>

担当窓口

プレースメント・オフィス
placement@adamson.edu.ph

キャリア・フェア参加企業

Converge ICT Solutions Inc, Keyence Philippines Inc, Mitsui Trading Phils Ltd. Co., Oracle (Philippines) Corporation, Denso Techno Philippines, Inc., Samsung Electronics Philippines, SAP Philippines Inc., etc.

1. アダムソン大学

コンピューティング & 情報技術学部

概要

コンピューティング & 情報技術学部は、2024年に正式に開校した、アダムソン大学で最も新しい学部である。

情報技術、情報システム、コンピューター・サイエンスを専門とする理学士号プログラムが設置されている。

学部長: Dr. Leo Alejandro

学部Eメール: info@dcs.upd.edu.ph

コンピューター・サイエンス: Maria Christina Navarro

IT&IS: Archie Santiago

取得可能な学位と専攻・研究分野

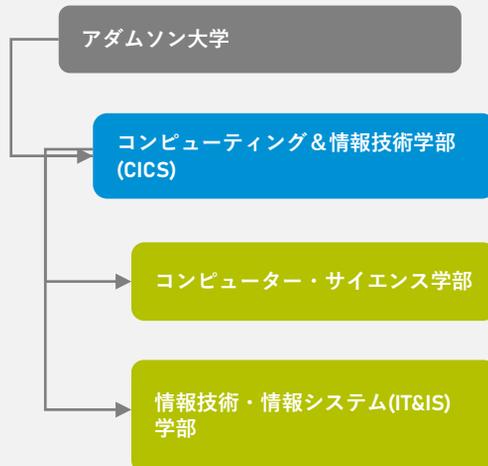
● 学士 ● 修士

コンピューター・サイエンス学部

- コンピューター・サイエンス
- コンピューター・サイエンスと情報工学

情報技術・情報システム学部

- 情報技術
- 情報システム



コンピューティング & 情報技術学部	在籍生徒数 AY 2022-2023	卒業生徒数 AY 2021-2022
● コンピューター・サイエンス	390	51
● 情報マネジメント	31	N/A
● 情報技術	946	164
● 情報技術 (修士課程) *	14	N/A

*このプログラムはアダムソン大学大学院にて提供されている。

認定

- ❖ PACUCOA レベル III (2022-2027) 情報技術修士認定
- ❖ PACUCOA レベル III (2023-2024) 情報システム認定
- ❖ PACUCOA レベル III (2023-2024) 情報技術認定試験合格率 98.29% (Certiport IT Specialist-Database Certification Exam) (2nd AY 2023-2024)
- ❖ Certiport IT Specialist-Database 認定試験合格率 96% (合格者数 240 名) (2nd AY 2022-2023 セメスター)

パートナーシップ

- ❖ SAP ユニバーシティ・アライアンス・メンバー

2. アテネオ・デ・マニラ大学

アテネオ・デ・マニラ大学 (ADMU)



写真：ジェトロマニラ事務所撮影

大学情報

住所: Katipunan Ave, Quezon City, 1108 Metro Manila

設立年: 1859

分類: 私立、宗派

Eメール: info@ateneo.edu

ウェブサイト: www.ateneo.edu

電話: (+63) 2 8524 2011



15,523

在籍生徒数
AY 2022-2023



2,870

卒業生徒数
AY2021-2022

概要

大学では、人文科学、社会科学、純粋科学、応用科学など幅広い学問分野を扱っており、主に英語で授業が行われている。

この150年間、アテネオ・デ・マニラ大学は、フィリピンの国民的英雄ホセ・リサールや4人のフィリピン大統領といった著名な卒業生の活躍を通して、国家の歴史形成に重要な役割を果たしてきました。卒業生の中には、優れた専門家、起業家、科学者、政治指導者、活動家、芸術家などがおり、国家建設に貢献してきました。

アカデミック・プログラム

芸術と人文科学、教育、マネジメント、科学、技術、工学、社会科学、ガバナンス、法律、医学、ビジネス

ランキング



2025 QS世界大学ランキング
世界516位
フィリピン第2位



THE世界大学ランキング
世界201-300位
フィリピン第1位

リクルート情報

キャリア・フェア

頻度：年1回

時期：3月

<https://placement.ateneo.edu/>

担当窓口

就職・キャリアサービス事務所

placement.ls@ateneo.edu

キャリア・フェア参加企業

Uniqlo, Accenture Inc., Emerson, SM Development Corporation, Nestle Philippines Inc., Proctor & Gamble, SGC & Co., First Gen Corporation, Etc.

日本との関係

日本語コース

- ❖ ADMUは日本研究の修士号と副専攻を提供しています。ADMUは、1966年に東南アジアで初めて日本研究プログラムを開設した大学である。

日本の機関や大学との関係

- ❖ ADMUは37の日本の機関/大学とパートナーシップを結んでいる。

2. アテネオ・デ・マニラ大学

情報システム・コンピューター・サイエンス学部(DISCS)

概要

情報システム・コンピューター・サイエンス学部は、CHEDのセンター・オブ・エクセレンスです。同校のコンピューター・サイエンス・プログラムは、フィリピンの学校・カレッジ・大学認定協会 (PAASCU) から、フィリピンで初めて最高レベルのレベルⅣの認定を受けている。

学部長: Patricia Anglea R. Abu

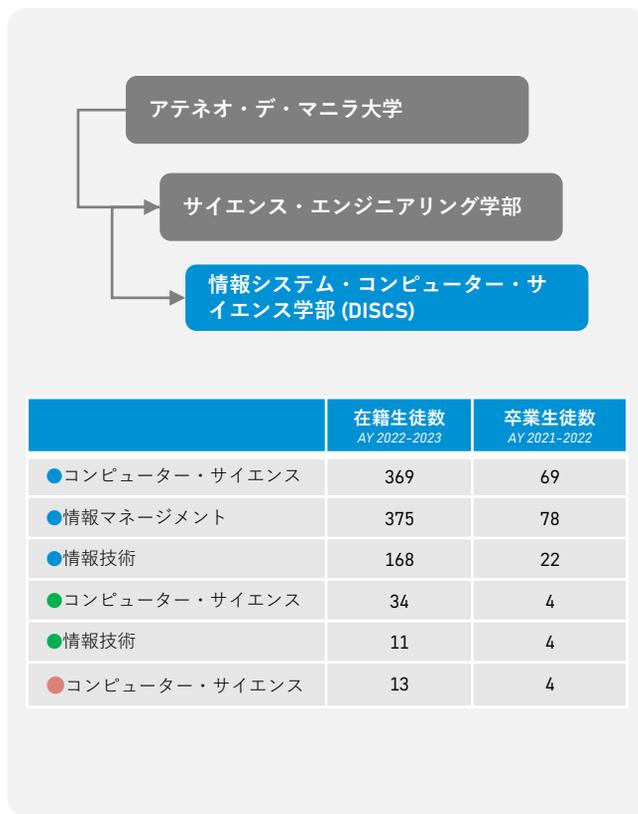
学部のEメール: discs.sose@ateneo.edu

取得可能な学位と専攻・研究分野

● 学士 ● 修士 ● 博士

コンピューター・サイエンス

- コンピューター・サイエンス
- デジタル・ゲーム・デザインと開発
- 経営情報システム
- コンピューター・サイエンス
- データ・サイエンス
- 情報技術
- コンピューター・サイエンス



認定	パートナーシップ
<ul style="list-style-type: none">❖ PAASCU情報システムレベルIII認定 (2027年まで)❖ PAASCUコンピューター科学レベルIII認定 (2027年まで)❖ CHED IT教育センター・オブ・エクセレンス	<ul style="list-style-type: none">❖ 奈良先端科学技術大学院大学とのNAISTインターンプロジェクト(NAPI)およびアテネオ-NAIST異文化ワークショップ-ソーシャル・コンピューティング研究-におけるパートナーシップ

研究グループ

- ❖ ATENEO BLOCKCHAIN LABORATORY (アテネオ・ブロックチェーン研究所) - ブロックチェーンの実用化に焦点を当てた応用研究開発プロジェクト。
- ❖ ATENEO COMPUTATIONAL SOUND AND MUSIC LAB (アテネオ・コンピューター・サウンド & ミュージック・ラボ) - 音と音楽の領域における機械学習、計算手法、アルゴリズム手法の応用。
- ❖ ATENEO COMPUTER ALGORITHMS AND APPLICATIONS LAB (アテネオ・コンピュータ・アルゴリズム & アプリケーション研究室) - 最適化問題のアルゴリズムの開発と、機械学習、人工知能、コンピューター・ビジョン、ビッグデータの分野におけるコンピューティング原理の応用。
- ❖ ATENEO LABORATORY FOR INTELLIGENT VISUAL ENVIRONMENTS (ALIVE) (アテネオ・ラボラトリー・フォア・インテリジェント・ビジュアル・エンバイロメント・アライブ) - 画像処理と機械学習手法を用いたデジタル画像による物体の検出と分類。
- ❖ ATENEO LABORATORY FOR THE LEARNING SCIENCES (ALLS) (アテネオ学習科学研究所) - 教育用ソフトウェアの開発と学習分析を利用し、生徒がどのように学ぶのが最適かについての新たな洞察を導き出す。

2. アテネオ・デ・マニラ大学

- ❖ ATENEO NETWORKS RESEARCH GROUP (NRG) (アテネオネットワークス研究会) - インターネットプロトコルおよびアプリケーション、テレコミュニケーションおよびデータサービス、トラフィックエンジニアリングおよびモデリング、システムおよびネットワーク設計、管理、相互運用性およびセキュリティに重点を置き、ネットワークの様々な側面に取り組む研究。
- ❖ ATENEO SOCIAL COMPUTING SCIENCE LAB (アテネオ・ソーシャル・コンピューティング・サイエンス・ラボ) - ソーシャルメディア分析とモデリング、ソーシャル・コンピューティング・プラットフォームの設計と開発、ソーシャル・ネットワーク分析とモデリング、エージェント・ベースのシミュレーションとモデリング。
- ❖ ATENEO VIRTUAL, AUGMENTED, AND MIXED REALITY LABORATORY (VAMR) (アテネオ・ヴァーチャル・拡張現実・複合現実研究所) - 最新の拡張現実技術とその実用化に関する研究を行う。
- ❖ ATENEO CENTER FOR COMPUTING COMPETENCY AND RESEARCH (ACCCRe) (アテネオ・コンピューティング能力研究センター)

2. アテネオ・デ・マニラ大学

氏名	役職	研究関心分野
アテネオ・ブロックチェーン研究所		
Christian Pulmano (Lab Head)	講師	経営情報システム、ソーシャル・コンピューティング、ブロックチェーン、健康情報学
Marlene De Leon	准教授	経営情報システム、ソーシャル・コンピューティング
アテネオ・コンピューター・ショナル・サウンド・アンド・ミュージック研究室		
Andrei Coronel (Lab Head)	准教授	コンピューターのアルゴリズムと応用、経営情報システム、データ分析、機械学習/AI、計算音と音楽
Ariel Maguyon	助教授	スポーツ科学、音響・音楽、3Dプリンティング/モデリング、情報セキュリティ
アテネオ・アルゴリズム・コンピューティング・アプリケーション研究室		
Proceso L. Fernandez, Jr. (Lab Head)	教授	コンピューターのアルゴリズムと応用
John Paul Vergara	教授	コンピューターのアルゴリズムと応用
アテネオ知的視覚環境研究室		
Patricia Angela Abu (Lab Head)	助教授	コンピューター・ビジョン
アテネオ学習科学研究室		
Maria Mercedes Rodrigo (Lab Head)	教授	アフェクティブ・コンピューティング、ラーニング・サイエンス
Jenilyn Agapito- Casano	助教授	アフェクティブ・コンピューティング、学習科学、ゲーミフィケーション、ヒューマン・コンピュータ・インタラクション
アテネオ・ネットワーク研究グループ		
William Emmanuel Yu (Lab Head)	講師	データ・ネットワーキング、ビッグデータ・コンピューティング
アテネオ・ソーシャル・ネットワーク・コンピューティング研究室		
Ma. Regna Justina Estuar (Lab Head)	教授	ソーシャル・コンピューティング
その他の研究室		
Guillermo Paolo Agloro Jr.	助教授	経営情報、システムHRテック
Sandra Francesca Lovenia	助教授	経営情報システム

研究成果

時空間疫学モデルを用いた症候群サーベイランスの可能性分析（FASSTER）

プロジェクトリーダー：マリア・レジーナ・ジャスティナ・E・エストゥアール博士

疾病の早期発見のために使用されるのは、保健省（DOH）の疫学局が使用するためにACCCReが開発したシナリオベースの疾病モデリングおよびサーベイランスツールである。

CREDERE：デジタルクレデンシャルの発行、共有、検証のためのモジュール型ブロックチェーン実装

プロジェクト・リーダー：クリスチャン・エステバン・プルマーノ

CREDEREは、学歴証明書と国民識別の文脈におけるデジタル資格証明書の保管、処理、共有のためのブロックチェーン対応プラットフォームである。ブロックチェーン技術は、既存の資格証明書管理システムのギャップを解決する潜在的なソリューションと考えられている。

初期実装は、デジタル証明書のためのモジュール式ブロックチェーン・ベースのウェブ・アプリケーションの開発が実現可能であることを示している。

3. イースト大学(UE)

イースト大学(UE)



写真：イースト大学提供

大学情報

住所: 2219 C. M. Recto Avenue,
Barangay 404, Zone 41, Sampaloc,
Manila, Philippines, 1008

設立年: 1951

分類: Private-Non-sectarian

Eメール: uro@ue.edu.ph

ウェブサイト: www.ue.edu.ph/mla/

電話: (+63) 02 8735 5471



7,707

在籍生徒数
AY 2022-2023



N/A

卒業生徒数

概要

UEはフィリピンを代表する大学の一つであり、2021年9月現在、75年にわたり100万人以上の卒業生を輩出し、国内外を問わず様々な分野でリーダーとして活躍している。

アカデミック・プログラム

会計・財務, 建築, 芸術と文学, 経営学, コミュニケーション, コンピューター・情報科学, 教育, エンジニアリング, ヒューマン・キネティクス, 法律, 社会科学, 科学, 観光とホスピタリティ

日本との関係

日本語コース

N/A

日本の機関や大学との関係

愛知学院大学 (歯学部) や長崎大学と交流がある。

リクルート情報

キャリア・フェア

頻度: 年一回

時期: 3月

<https://www.facebook.com/uemanilagccso>

担当窓口

Guidance, Counseling and Career Services
Office

guidance@ue.edu.ph

キャリア・フェア参加企業(2024)

Accenture Philippines, Emerson Philippines,
Amazon Operations Services Philippines Inc.

3. イースト大学

コンピューター研究・システム学部 (CCSS)

概要

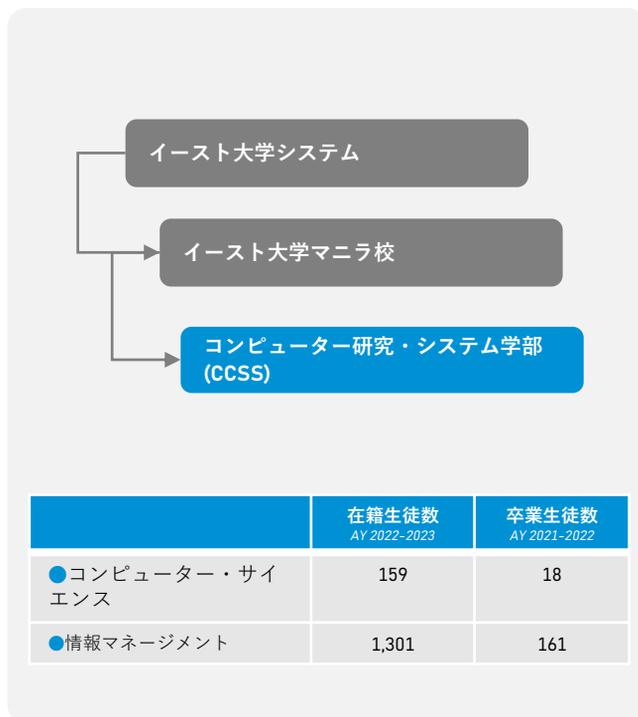
ザ・イースト大学では、1984年には既に経営学プログラムの理系カリキュラムの中でコンピューター・コースを設けていた。その後、1988年に、コンピューター研究・システム学部が設置され、コンピューター・コースの提供を開始した。

学部長： MA. TERESA F. BOREBOR

学部Eメール： ccss@ue.edu.ph

取得可能な学位と専攻・研究分野

- 学士
- 情報技術
- コンピューター・サイエンス
- 情報システム
- エンターテイメント・マルチメディア・コンピューティング
 - ・ デジタル・アニメーション
 - ・ ゲーム開発
- データ・サイエンス



認定	パートナーシップ
<ul style="list-style-type: none">❖ CHED センター・オブ・エクセレンス (IT教育)❖ PACUCOA レベルIV認定 (コンピューター・サイエンス、2023-2028)❖ PACUCOAレベルIII認定 (情報技術、2024-2028)	<ul style="list-style-type: none">❖ Huawei ICT Academy❖ Certiport Authorized Testing Center

4. サント・トーマス大学

サントトーマス(UST)



写真：ジェットロマニラ事務所撮影

大学情報

住所: Espana Blvd., Sampaloc, Manila, Philippines 1008

設立年: 1611

分類: Private

Eメール: cb.online@ust.edu.ph

ウェブサイト: www.ust.edu.ph/

電話: (+63) 2 3406 1611



40,657

在籍生徒数
AY2023-2024



N/A

卒業生徒数

概要

サント・トーマス大学はフィリピンを代表する私立研究大学であり、常に世界の大学ランキングのトップ1000にランクインしている。自然科学、健康科学、応用科学、社会科学、聖なる科学、そしてビジネスと経営学の分野で学位と研究を推進する同大学は、社会に良い影響を与えるよう絶えず努力している。

アカデミック・プログラム

マネジメント、健康、社会科学、アート、体育、神科学、科学と工学

ランキング



2025 QS世界大学ランキング
世界851~900位
フィリピン第4位



THE世界大学ランキング
世界601~800位
フィリピン第4位

リクルート情報

キャリア・フェア

頻度: 年一回

時期: 4月

<https://www.facebook.com/ustcounselingandcareercenter/>

担当窓口

UST カウンセリング・キャリア・センター
counseling.career.center@ust.edu.ph

キャリア・フェア参加企業 (2024)

アボイティズ・エクイティ・ベンチャーズ、エマソン、フォーカス・グローバル、アイブリッジ・システムズ、インドラ、ジョンソン・エンドジョンソン、オラクル、品川、ユニクロ等

日本との関係

日本語コース
N/A

日本の機関や大学との関係 USTは日本の機関/大学と17のパートナーシップを結んでいる

4. サント・トーマス大学

インフォメーション&コンピューター・サイエンス学部(CICS)

OVERVIEW

インフォメーション、コンピューター・サイエンス学部は、2014年に工学部から独立した学術ユニットとして正式に設立された。プログラムは、理学部（コンピューター・サイエンス）、商学部（情報システム）、工学部（インフォメーション・テクノロジー）から受け継いでいる。

学部長： Christopher Ladao, MSCS

学部Eメール: cics@ust.edu.ph

取得可能な学位と専攻・研究分野

● 学士

コンピューター・サイエンス学部

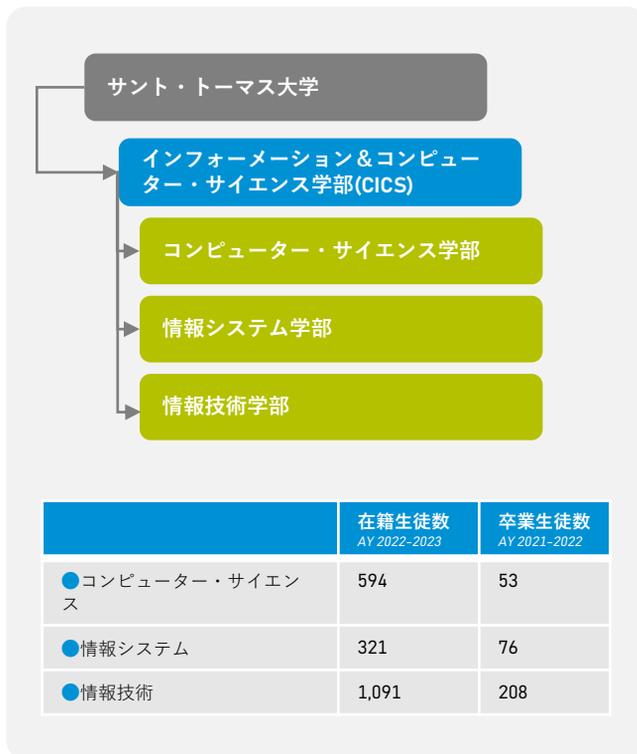
● コンピューター・サイエンス

- コア・コンピューター・サイエンス・トラック
- ゲーム開発トラック
- データ・サイエンス・トラック

情報システム学部

● 情報システム

- ビジネス・アナリティクス・トラック
- サービス・マネジメント・トラック



情報技術学部

● 情報技術

- ネットワーク・セキュリティー・トラック
- ウェブ・モバイルアプリ開発・トラック
- ITオートメーション・トラック

認定	パートナーシップ
❖ CHED情報技術開発センター	❖ CICSは2021年にアクセンチュアからIoTと産業革新の取り組みに対する助成金を受けた。 ❖ SAPユニバーシティ・アライアンス・メンバー ❖ 2024 シスコネットワークングアカデミー Premier+パートナー

研究成果

拡張隠れマルコフモデルの株価予測への応用

担当教員ドナタ・D・アキュラ博士

本研究の主な焦点は、ニューラルネットワークの特徴を利用した隠れマルコフモデルの拡張と、季節的自己回帰統合移動平均による予測値の予測である。アップルとノキアのデータについて、始値、高値、安値、出来高を予測変数とする銘柄の終値を予測するために、この拡張手法を使用した。

5. デ・ラ・サール大学

デ・ラ・サール大学 (DLSU)



写真：ジェットロマニラ事務所撮影

大学情報

住所：2401 Taft Ave, Malate, Manila, 1004 Metro Manila

設立年：1911

分類：私立、宗派

Eメール：hub@dlsu.edu.ph

ウェブサイト：www.dlsu.edu.ph

電話：(+63) 2 8981-8500



23,694人

在籍生徒数
AY2023-2024



12,158人

卒業生徒数
AY2022-2023

概要

デ・ラ・サール大学は、1911年にキリスト教学校修道会によって設立された、国際的に認められたフィリピンのカトリック大学です。聖ヨハネ・バプティスト・デ・ラ・サールのカリスマにインスパイアされた大学コミュニティは、心を教え、心を動かし、人生を変革することによって、共に、また関連し合いながら、質の高い人間教育とキリスト教教育を提供しています。本学は、その卓越した学問的能力、豊富で適切な研究、そして地域社会への奉仕活動で定評のある高等教育機関です。

アカデミック・プログラム

教育、ビジネス、コンピューター研究、法律、リベラルアーツ、サイエンス、エンジニアリング、経済学



2025 QS世界大学ランキング
世界641~650位
フィリピン第3位



THE世界大学ランキング
世界601~800位
フィリピン第3位

リクルート情報

キャリア・フェア

頻度：年2回

時期：2月/3月および7月/8月

<https://www.facebook.com/upujf/>

担当窓口

DLSUカウンセリング・キャリアサービスオフィス

careerservices@dlsu.edu.ph

キャリア・フェア参加企業 (コンピューター・サイエンス/IT)

Accenture, Chevron, Navitaire, Procter & Gamble, DXC Technology, Oracle NetSuite, Equinix, De La Salle University, ING, Infor PSSC, Samsung

日本との関係

日本語コース

DLSUは国際学士号 (Bachelor of Arts In International Studies) 日本学専攻 (Major In Japanese Studies) を提供しています。この専攻を目指す学生は、日本語を15単位履修する必要があります。日本語は全生徒の選択科目として開講されている。

日本の機関・大学との連携

DLSUは14の機関/大学と提携している。

5. デ・ラ・サール大学

コンピューター・サイエンス学部(CCS)

概要

カレッジ・オブ・コンピューター・スタディーズ (CCS)は、教育を通じて知識と専門性を継続的に共有すること、コンピューター・サイエンスの研究と情報技術製品の開発に従事すること、そして、困っている地域社会に奉仕すること、という3つのビジョンを掲げている教育機関である。

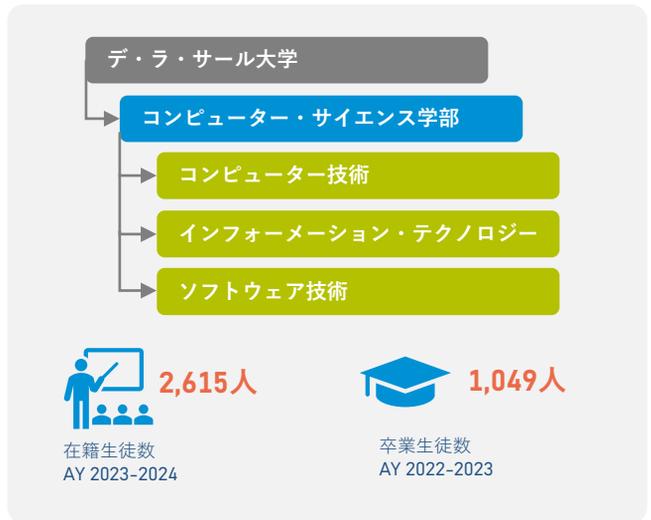
学部長：Ethel Chua Joy Ong, PhD
学部Eメール：computerstudies@dlsu.edu.ph

取得可能な学位と専攻・研究分野

● 学士 ● 修士 ● 博士

- コンピューター・サイエンス
ソフトウェア技術専攻
ネットワークと情報セキュリティ専攻
コンピューターシステム工学専攻
情報システム
インフォメーション・テクノロジー
インタラクティブ・エンターテインメント

- コンピューター・サイエンス
データサイエンス
インフォメーション・テクノロジー
情報セキュリティ
- インフォメーション・テクノロジー
- コンピューター・サイエンス
- ● コンピューター・サイエンス (優等)



ランキングと認定

- ❖ 2024 QSランキング コンピューター・情報システム部門 フィリピン第2位
- ❖ 2024 EduRank コンピューター・サイエンス部門 フィリピン大学1位
- ❖ FAAPによるコンピューター・サイエンス・プログラムのレベルIV再認定について
- ❖ PAASCUによるコンピューター・サイエンス・プログラムのレベルIVステータス
- ❖ 2007年よりCHEDの情報技術教育センター (Center of Excellence in Information Technology Education)

パートナーシップ

- ❖ 大阪大学とのICT連携研究に関する覚書 (2016-2021年)
- ❖ 公立はこだて未来大学との学術交流協定に関する覚書 (2014-2019年)
- ❖ インターンシップ株式会社コンピューター総合研究所、株式会社S2Iソリューションズファクトリー

研究機関

アドバンスド・リサーチ・インスティテュート・フォー・インフォーマティクス、コンピューティング& ネットワーキング (AdRIC：情報科学先端研究所)は、コンピューター研究学部 (CCS) の研究ユニットの一つであり、下記の10の研究センターを有する。AdRICは、コンピューティングの様々な分野における研究活動の方向性と優先順位を定め、特定された推進力と優先順位に沿った研究開発プロジェクトを委託・奨励し、研究を通じて社会に貢献するために産官学のパートナーとの共同事業を模索することを任務としている。

AdRICの研究センター：

バイオインフォーマティクス研究室 /オートメーション・リサーチ・センター (CAR) /複雑性と新技術センター (COMET) /開発ICTセンター (CITE4D) /言語技術センター (CeLT) /ヒューマンコンピューティングイノベーションセンター (CeHCI) /ネットワーク・情報セキュリティセンター (CNIS) /コンピューターショナル・イメージング&ビジュアル・イノベーション (CIVI) /ゲーム開発ラボ (GameLab) /技術・教育・娯楽・共感・デザイン (TE3D) ハウス

5. デ・ラ・サール大学

氏名	役職	研究関心分野
		*日本の教育機関で学位を取得している場合には水色で大学名と学位を記述している
バイオインフォマティクス研究室		
Anish MS Shrestha (Lab Head)	准教授	バイオインフォマティクス、計算生物学 東京工業大学 - 博士(工学)(通信・統合システム)
Ann Franchesca Laguna	助教授	デジタル信号処理、機械学習、ソフトウェア・ハードウェア協調設計、ニューラルネットワーク
Jennifer Ureta	助教授	コンピューター・グラフィックス、チャットボット、ソーシャルメディアデータマイニング
Roger Luis Uy	助教授	コンピューター・アーキテクチャー、コンピューター組織、機械学習、デジタル信号処理
Llewelyn Moron-Espiritu	助教授	微生物学、真菌学
オートメーション研究センター		
Joel Ilao	教授	コンピューター・ビジョン、コーパス言語学、音声・音声処理、ロボット工学 その他の研究グループ 言語技術センター
Kainam Wong	教授	デジタル信号技術、統計モデリング
Macario Cordel II	准教授	データサイエンス、データ分析、ディープラーニング、デジタル信号処理、マシンビジョン、データ可視化 公立はこだて未来大学 - 博士 (システム情報学)
Ronald Pascual	准教授	音声・音声信号処理、デジタル画像処理、自然言語処理、人工知能 大阪大学 - 情報理工学博士
Clement Ong (Lab Head)	准教授	ロボット工学、音響工学、デジタル信号処理
Hiroki Asaba	助教授	組み込みシステム、無線センサーネットワーク
Ann Franchesca Laguna	助教授	デジタル信号処理、機械学習、ソフトウェア・ハードウェア協調設計、ニューラルネットワーク
Roger Luis Uy	助教授	コンピューターアーキテクチャ、コンピューター組織、機械学習、デジタル信号処理
複雑性・新技術センター		
Briane Paul Samson (Lab Head)	准教授	複雑システムのモデリングとシミュレーション、自然言語処理とマシンビジョン、コンピューターと人間の相互作用、知識発見 公立はこだて未来大学 - 博士 (システム情報学) その他の研究グループ アンドリュー・タン・データサイエンス研究所
Rafael Cabredo	准教授	複雑系科学、共感コンピューティング、機械学習、ゲーム開発 大阪大学 - 情報理工学博士 その他の研究グループ ヒューマン・コンピューター・イノベーション・センター
Jordan Aiko Deja	助教授	ヒューマンコンピューターインタラクション, ヒューマンロボットインタラクション, 拡張現実感, 計算機インタラクション
Angelyn Lao	教授	システム生物学、グラフ理論、数理モデリング

5. デ・ラ・サール大学

氏名	役職	研究関心分野
開発ICTセンター		
Oliver Malabanan (Lab Head)	助教授	情報科学、情報システム（ビジネス、情報学）、教育工学
Mary Jane Arcilla	助教授	ビジネス・プロセス・マネジメント、医療・教育ICT
Estefanie Bertumen	助教授	eガバメント/電子政府、eラーニング、インストラクショナル・デザイン、マルチメディア開発
Ma. Rowena Caguiat	助教授	クラウドERP, クラウドコンピューティング, ユーザー生成コンテンツ
Michelle Renee Ching	准教授	ガバナンス、リスク、コンプライアンス、情報セキュリティ、データ・プライバシー、電子行政
Ryan Ebarido	准教授	デジタル人文科学、ソーシャル・コンピューティング、ヘルスケア・テクノロジー、サイバー心理学
Geanne Ross Franco	准教授	ウェブ開発、データベースシステム、コンピューター・ネットワーク
Lissa Andrea Magpantay	准教授	経営と情報システム、ビジネス・プロセス・マネジメント、ISプランニング
Merlin Teodosia Suarez	教授	自動行動分析、マルチモーダル動作分析（eラーニング、特別支援教育、ヘルスケア）、ソーシャルメディアと高齢者、デジタル・レジリエンスと社会起業家精神
Liandro Antonio Tabora	助教授	eラーニング、Mラーニング、SPEDのためのテクノロジー、インストラクショナル・デザインとマルチメディアアプリケーション開発、ゲーミフィケーション、ゲームベースの学習とシリアスゲーム、開発のためのICT
Marivic Tangkeko	助教授	ITにおけるマネジメント、ビジネス・プロセス・マネジメント、開発のためのICT
言語技術センター		
Edward Tighe (Lab Head)	助教授	インターネットリサーチ、感情分析、性格認識、自然言語処理、データマイニング
Charibeth Cheng	教授	自然言語処理、フィリピン言語資源の構築、自然言語処理における深層学習、言語モデリング、転移学習
Ethel Ong	教授	自然言語処理、物語・テキスト生成、セマンティック・オントロジー、計算創造性、物語生成
Allan Borra	助教授	自然言語処理と計算言語学、ガバナンスのための技術革新
Shirley Chu	助教授	ニューラルネットワークと遺伝的アルゴリズム、自然言語処理
Nathalie Rose Lim-Cheng	助教授	プログラミング言語、自然言語処理、情報抽出とオントロジー作成、質問応答、医療情報学、倫理学
Joanna Pauline Rivera	助教授	自然言語処理、画像処理、機械学習

5. デ・ラ・サール大学

氏名	役職	研究関心分野
ヒューマン・コンピューター・イノベーション・センター		
Norshuhani Zamin (Lab Head)	准教授	教育用コンピューター、感情・社会コンピューティング、自然言語処理、機械学習
Merlin Teodosia Suarez	教授	自動行動分析、マルチモーダル動作分析（eラーニング、特別支援教育、ヘルスケア）、ソーシャルメディアと高齢者、デジタル・レジリエンスと社会起業家精神
Judith Azcarraga	助教授	機械学習、生理信号分析、感情コンピューティング、会話エージェント、遠隔医療
Rafael Cabredo	准教授	複雑系科学、共感コンピューティング、機械学習、ゲーム開発
Jocelynn Cu	助教授	マルチモーダル感情認識、笑い分析、合成
Gregory Cu	助教授	デジタル信号処理、機械学習、ソフトウェア・ハードウェア協調設計、ニューラルネットワーク
Fritz Kevin Flores	助教授	コンピューター・ネットワーク、機械学習、情報セキュリティ、Webアプリケーションセキュリティ
ネットワーキング&情報セキュリティセンター		
Marnel Peradilla (Lab Head)	助教授	マネジメント&情報システム、ビジネス・プロセス・マネジメント、情報システム企画
Macario Cordel II	教授	自動行動分析、マルチモーダル動作分析（eラーニング、特殊教育、ヘルスケア）、ソーシャル・メディアと高齢者、デジタル・レジリエンスと社会的起業家精神
Gregory Cu	助教授	モノのインターネット、コンピューター・ネットワーク、情報セキュリティ
Fritz Kevin Flores	助教授	コンピューター・ネットワーク、無線センサー・ネットワーク
Geanne Ross Franco	助教授	コンピューター・ビジョン、コーパス言語学、オーディオおよび音声処理、ロボット工学
Jocelynn Cu	助教授	マルチモーダル感情認識、笑いの分析と合成
Ann Franchesca Laguna	助教授	デジタル信号処理、機械学習とソフトウェア・ハードウェア協調設計、ニューラル・ネットワーク
Katrina Ysabel Solomon	助教授	コンピューター・ネットワーク、機械学習、情報セキュリティー、Webアプリケーション・セキュリティ
Arlyn Verina Tiu	助教授	データ通信プロトコル、無線センサー・ネットワーク、モバイル・アドホック・ネットワーク

5. デ・ラ・サール大学

氏名	役職	研究関心分野
*日本の教育機関で学位を取得している場合には水色で大学名と学位を記述している		
コンピューター・シヨナル・イメージング&ビジュアル・イノベーション・センター		
Arren Matthew Antioquia (Lab Head)	助教授	コンピューター・ビジョン、ディープ・ラーニング
グラフィックス、アニメーション、マルチメディア、エンターテインメント (GAME) ラボ		
Neil Patrick Del Gallego (Lab Head)	准教授	コンピューター・ビジョン、画像処理、計算写真、拡張現実、コンピューター・グラフィックス、ゲームエンジン
Ryan Samuel Dimaunahan	助教授	ゲームベースの知的学習環境、知的チュータリングシステム、シリアスゲーム
Rafael Cabredo	准教授	複雑系科学、共感コンピューティング、機械学習、ゲーム開発
Conrado Ruiz, Jr.	准教授	コンピューター・グラフィックス、マルチメディア情報検索、計算写真
Florante Salvador	准教授	3次元コンピューター・グラフィックス、コンピューター支援幾何学設計、産業用ロボット経路計画および運動制御 山梨大学・工学博士
テクノロジー、教育、エンターテインメント、共感、デザイン		
Ma. Christine Gendrano	助教授	データベースシステム、遠隔医療
Dr. Andrew L. Tan データ・サイエンス研究所		
Rene Batac (Institute Executive Director)	准教授	複雑系、粒状材料、自己組織化臨界、都市システム
Arren Matthew Antioquia	助教授	コンピューター・ビジョン、ディープラーニング
Macario Cordel II	准教授	データサイエンス、データ分析、ディープラーニング、デジタル信号処理、マシンビジョン、データ可視化
Fritz Kevin Flores	助教授	コンピューター・ネットワーク、無線センサーネットワーク
Ann Franchesca Laguna	助教授	デジタル信号処理、機械学習、ソフトウェア・ハードウェア協調設計、ニューラルネットワーク
Thomas James Tiam-Lee	助教授	人工知能、応用データ科学、計算社会科学、教育におけるAI 公立はこだて未来大学 - 博士 (システム情報科学)
Ruth Angelie Cruz	准教授	オープンガバメント、公共イノベーション、公共価値、ソーシャルメディア、センチメント分析
その他の学部メンバー		
Nelson Marcos	准教授	アルゴリズムと複雑性、データマイニング、モデリングとシミュレーション
Danny Cheng	助教授	ガバナンス、リスク、コンプライアンス、オントロジー、情報セキュリティ、アナリティクス
Renato Jose Ma. Molano	助教授	情報システム、教育におけるICTの統合
Kai Shan Fernandez	助教授	ビジネス・プロセス、インテリジェント・チュータリング・システム

研究成果

モバイル・アドホック・ネットワークとモビリティ管理

ミシェル・レニー・チン博士

このプロジェクトはモバイル・アドホック・ネットワーク用の通信プロトコルを開発したもので、DNS設計、モバイルIP、鍵管理、セキュア通信などが含まれる。韓国カトリック大学のチョン・ユンチャン教授がこのプロジェクトを率いた。

本プロジェクトは、韓国教育科学技術部国立研究財団より研究助成金を受けている

小児結核臨床判断支援システム

マーネル・ペラディーリャ博士

PedTB-CDSS：結核は空気感染する病気で、人から人へ感染する。15歳以下の小児（小児結核とも呼ばれる）は、生命を脅かす病気を発症する可能性が高く、結核の症例数は、5歳以下の小児と10歳以上の青少年が最も多い。この研究の焦点は、医師、看護師、その他の医療専門家がより良いデータに基づいて意思決定を行い、現在の結核臨床診断の実践を最適化し、結核予防治療（TPT）の適格性を決定するプロセスを改善するために、技術革新がどのように設計され、開発されたかということである。

本プロジェクトは、米国国際開発庁(USAID)とユニバーシティ・リサーチ株式会社(URC)から外部研究助成を受けている。

偽情報リスク評価フィリピン国報告書

ブライアン・ポール・サムソン博士

偽情報リスク評価は、独立したデータに基づいたメディア・リスク評価のグローバル・ゴールド・スタンダードを構築するために、ニュース・ドメインの偽情報リスクを評価することを目的としている。この枠組みは、偽情報リスクのフラグとなる一連の指標と質問から成る。

本プロジェクトは、Disinformation Index Ltd.より研究助成を受けている。

研究成果

イーグル・アイ3.0合成画像による画像とビデオの品質向上

ニール・パトリック・デル・ガレゴ博士

このプロジェクトは、公共ビデオデータセット、Archer's Eye、MMDAビデオなど（ただしこれらに限定されない）の監視ビデオや画像を改善していくことにより、このプロジェクトを継続することを目的としている。

提案されたプロジェクトは、文献でよく知られている以下の画像強調アプローチの1つ以上に取り組むことを想定している：デハイズ、ノイズ除去、色強調、デブラーリング。

本プロジェクトは、「若手科学者のための才能発掘2024」において、NAST特別賞を受賞した。

FASTRAC: TITANプロジェクト

(ビジョンに基づく交通情報と分析の強化と市場検証)

ニール・パトリック・デル・ガレゴ博士

Vision-based Traffic Information and Analysis (TITAN)は、2017年から2020年まで、DOST-PCIEERD助成金によるプロジェクトを通じて開発されたビジョンベースの交通監視システムである。このフレームワークは、アノテーションツール（ウェブ・アプリケーション）、拡張ディレクトリ（物体検出器生成）、トレーニングユーティリティ（ディープラーニングモデルトレーニング）の3つのシステムで構成されている。FASTRACプロジェクトの結果は、ビデオアノテーションにおけるコラボレーションの改善、エクスポート品質の向上、カテゴリーマッピングとメタデータ保存のための集中型データベースの統合の成功を示している。

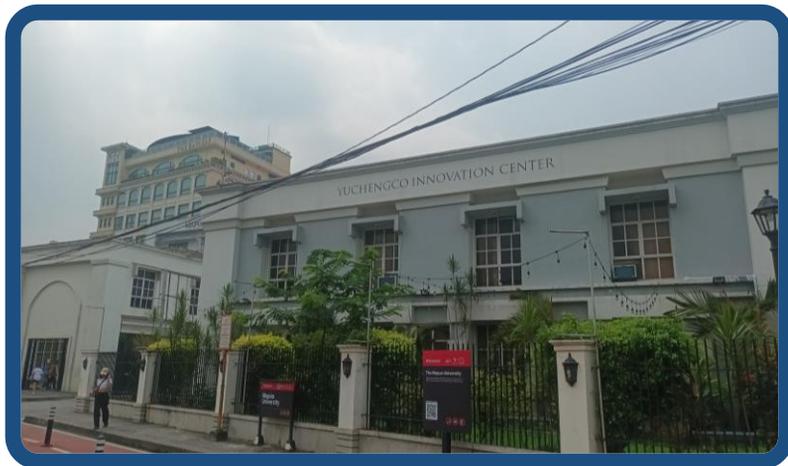
GPSを利用したタイ移住の推定

トーマス・ジェームス・ティアム-リー博士

GPSデータを活用してタイ国内の移動パターンを推定・分析することを目的としたADB国際プロジェクトのコンサルタント業務。このプロジェクトは、日本政府が資金を提供し、アジア開発銀行（ADB）が管理する「豊かで強靱なアジア太平洋日本基金」の資金援助を受けており、タイ政府機関の協力を得て実施されている。

6. マプア大学

マプア大学



写真：ジェトロマニラ事務所撮影

大学情報

住所：658 Muralla St, Intramuros, Manila, 1002 Metro Manila

設立年：1925

分類：私立、非宗派

Eメール：helpdesk@mapua.edu.ph

ウェブサイト：www.mapua.edu.ph

電話：(+63) 8247 5000



9,471

在籍生徒数
AY 2021-2022



N/A

卒業生徒数
AY2021-2022

概要

マプア大学は1925年、フィリピンで最初に建築家として登録されたドン・マプアによって設立された。マプアはフィリピンの最高峰の工学・技術学校である。その学士課程プログラムは、国内外の様々な認定機関から認められており、米国のABETから認定を受けた東南アジアで最初の学校である。また、マプア大学はCHEDからセンター・オブ・エクセレンスとして認定された最も多くの工学プログラムを有している。

アカデミック・プログラム

建築、エンジニアリング、リベラルアーツ、数学、物理学、体育、情報技術、メディア研究、看護

ランキング



2024 QSアジア大学
ランキング 世界601-650位
フィリピン第6位



THE世界大学ランキング
世界601-650位
フィリピン第3位

日本との関係

日本語コース

マプアCCESCランゲージアカデミーが日本語研修を実施している。

日本の機関や大学との関係

マプア大学は岡山科学大学と東洋大学と提携している。

リクルート情報

キャリア・フェア

頻度：年一回

時期：3月

<https://www.facebook.com/MapuaCareerServices/>

担当窓口

Mapúa Career Services
career_services@mapua.edu.ph

産業界パートナー企業

Heishi Corporation, K&A Inc., Mitsubishi Fuso Truck and Bus Corp., Musashi Corp., Nihon Kaiten Sushi Kyokai, Ninomiya Manufacturing Corp., Ohzen Co. Ltd., Ottawa Corp., Sakae Casting Co., Ltd., UM Co. Ltd., Xrabe Inc., Agatsu Precision Mold Co. Ltd. Tec Co. Ltd., Atom Co. Ltd.

6. マプア大学

情報技術学部

概要

マプア大学は、優秀な人材を輩出するIT教育のセンター・オブ・エクセレンスとして知られている。

マプア大学では、企業や社会の技術的ニーズに応えるシステムを構築し、ソリューションを提供できる未来の技術分野のリーダーを育成している。

学部長：Ariel Kelly Balan

学部Eメール：N/A

取得可能な学位と専攻・研究分野

● 学士 ● 修士

● 情報技術

コンピューター・ネットワークとセキュリティ
サイバー・セキュリティ
アプリケーション開発
エンタープライズ・データ管理

● コンピューター・サイエンス

インテリジェント・システム
データ・サイエンス
ソフトウェア工学
アプリケーション開発

● エンターテインメント・マルチメディア・コンピューティング

ゲーム開発

● エンターテインメント・マルチメディア・コンピューティング

ビジネス・アナリティクス
エンタープライズ・リソース・プランニング
エンタープライズ・データ管理
IT監査
ITサービスマネージメント



	在籍生徒数 AY 2022-2023	卒業生徒数 AY 2021-2022
● コンピューター・サイエンス	369	69
● 情報管理	375	78
● 情報技術	168	22
● コンピューター・サイエンス*	34	4
● 情報技術*	11	4
● コンピューター・サイエンス*	13	4

*これらのプログラムはマプア大学大学院にて提供されている。

認定

- ❖ 2024 世界大学ランキング（コンピューター・サイエンス）において800-1000位
- ❖ PACUCOA レベル III コンピューター・サイエンス認定(2022-2027)
- ❖ PACUCOA レベルII 情報システム認定(2022-2027)
- ❖ PACUCOA レベル II情報技術認定 (2022-2027)
- ❖ CHED IT教育におけるセンター・オブ・エクセレンス認定
- ❖ PICAB 情報技術認定
- ❖ PICAB 情報システム認定
- ❖ PICAB コンピューター・サイエンス認定

7. ファー・イースタン工科大学

ファー・イースタン工科大学(FEU Tech)



写真：ジェットロマニラ事務所撮影

大学情報

住所: Padre Paredes St, Sampaloc, Manila, 1015 Metro Manila

設立年: 1992

分類: Private Non-Sectarian

Eメール: info@feutech.edu.ph

ウェブサイト: www.feutech.edu.ph/

電話: (+63) 953 194 3900



7,123

卒業生徒数
AY 2021-2022



N/A

卒業生徒数

概要

ファー・イースタン大学 (FEU) は1928年、公認会計士試験の最低条件を満たす3年間のプログラムを提供する会計学院としてスタートした。現在、FEUは7つのキャンパス、1つの高校、1つの医学部で構成されている。

ファー・イースタン工科大学は、FEUグループの3番目の学校として1992年に設立された。ファー・イースタン工科大学はメインキャンパスの近くに位置し、工学と技術プログラムに特化している。

アカデミック・プログラム

エンジニアリング、コンピューター・サイエンス



2024 QSアジア大学
ランキング 世界701-750位
フィリピン第8位

日本との関係

日本語コース
N/A

日本の機関や大学との関係
N/A

リクルート情報

キャリア・フェア

頻度: 年二回

時期: 7月

<https://www.facebook.com/FEUCareerandPlacementOffice/>

担当窓口

IALAP (Industry-Academe Linkage, Alumni, and Placement)

ialap@feutech.edu.ph

キャリア・フェア参加企業(2024)

Colliers、Emerson、ING、JGC、Panasonic、RCBC、Gcash

7. ファー・イースタン工科大学

コンピューター研究&マルチメディア学部

概要

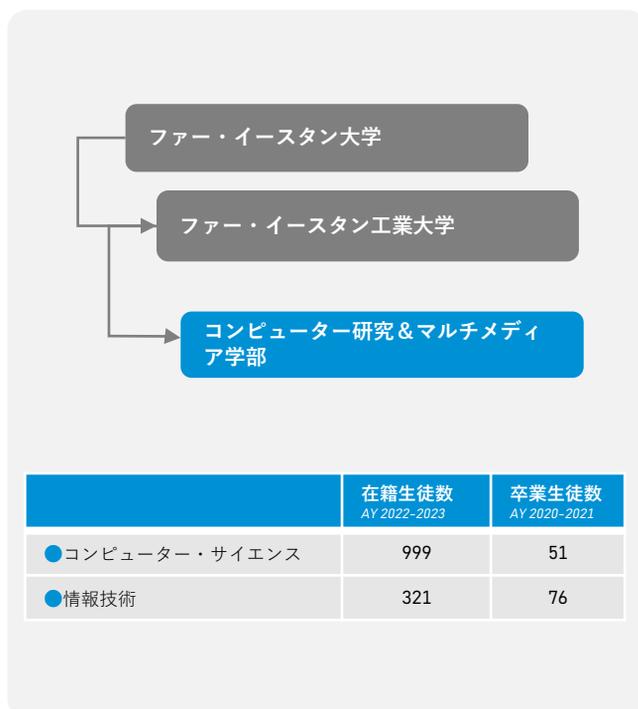
FEU工業大学は、1992年に東アジア・コンピューター・センター社（East Asia Computer Center, Inc.）と提携し、コンピューター・サイエンスの学位を提供するコンピューター・テクノロジー・プログラムを開講した。

学部長: Dr. Ace Lagman

学部Eメール: ccs_it@feutech.edu.ph

取得可能な学位と専攻・研究分野

- 学士
 - コンピューター・サイエンス
 - データ・サイエンス
 - 人工知能
 - ソフトウェア・エンジニアリング
 - 情報技術
 - アニメーション、ゲーム・ディベロップメント
 - ビジネス・アナリティクス
 - サイバー・セキュリティ
 - モバイル・アプリケーション
 - マルチメディア
 - アニメーション、デジタル映画



認定

- ❖ PACUCOAレベルIV認定 BS応用数学（情報技術付き）（2021-2026年）
- ❖ PAASCUレベルIII認定情報技術（2026年まで）
- ❖ PICABコンピューター・サイエンス学士認定
- ❖ PICAB 情報技術学士認定

8.1 フィリピン大学ディリマン校

フィリピン大学ディリマン校 (UPD)



写真：ジェットロマニラ事務所撮影

大学情報

住所：University of the Philippines
Diliman Quezon City, Philippines 1101

設立年：1908

分類：公立

Eメール：updio@up.edu.ph

ウェブサイト：www.upd.edu.ph

電話：(+63) 2 8981-8500



26,349人

在籍生徒数
AY2023-2024



4,465人

卒業生徒数
AY 2022-2023

概要

フィリピン大学 (UP) は、2008年のフィリピン大学憲章で定められたフィリピンの国立大学である。フィリピン大学ディリマン校 (UPD) は、フィリピン大学システムのメインキャンパスである。UPDは、学位を授与する学術ユニット、学生数、教授陣、図書館資料の点で、UPシステム最大の構成大学である。

UPDは、共同学術プログラム、研究、学生交流のために、国際的な高等教育機関と広範な提携関係を結んでおり、カリキュラムの充実、教員の能力開発、リソースの創出、専門知識やプログラムの共有の機会を提供している。

アカデミック・プログラム

科学と工学、社会科学、マネジメント、教育、法律、芸術と文学

ランキング



2025 QS世界大学ランキング
世界336位
フィリピン第1位



THE世界大学ランキング
世界401-600位
フィリピン第2位

リクルート情報

キャリア・フェア

頻度：年1回、時期：3月

<https://www.facebook.com/upujf/>

担当窓口

UPカウンセリング・ガイダンス・オフィス
ocg.updiliman@up.edu.ph

キャリア・フェア参加企業

Alorica Teleservices Inc., IntelLogix
Philippines, Marstech Unlimited Solutions &
Technology Inc., Pru Life UK, The Sven Group,
Toyota Financial Services, etc.

日本との関係

日本語コース

- ❖ UPディリマン校言語学部では、学部生を対象とした日本語クラスと、UP以外の学生を対象とした学外クラスを開講しています。

日本の機関・大学との連携

- ❖ UPディリマン校は、26の日本の教育機関/大学と提携関係にある。

8.1 フィリピン大学ディリマン校

コンピューター・サイエンス学 (DCS)

概要

コンピューター・サイエンス学科は、UPカリレッジ・オブ・エンジニアリングの下にある8つのユニットのひとつである。同学科では、コンピューター・サイエンスの学士課程、修士課程、博士課程、バイオインフォマティクスの修士課程を提供している。また、人工知能、データサイエンス、環境工学プログラムの大学院計算科学コースも提供している。

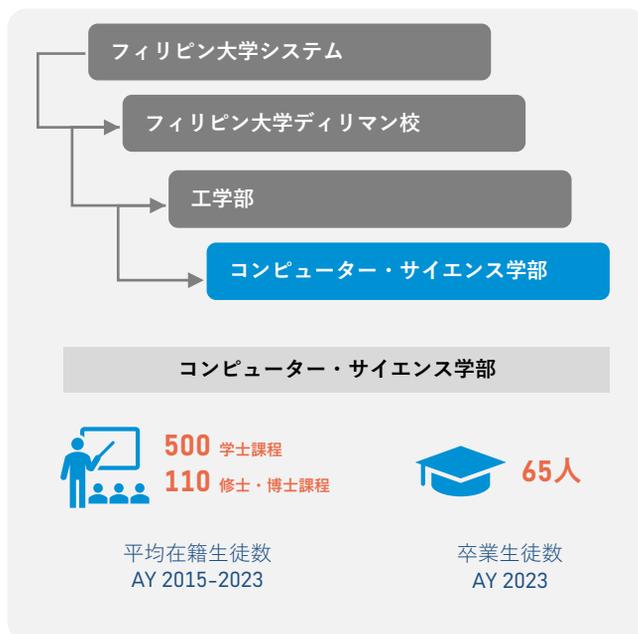
学部長: John Justine Villar, PhD

学部Eメール: info@dcs.upd.edu.ph

取得可能な学位と専攻・研究分野

● 学士 ● 修士

- コンピューター・サイエンス
- コンピューター・サイエンス
- バイオ・インフォマティクス



ランキングと認定

- ❖ 2024 THE世界大学ランキング
コンピューター・サイエンス部門フィリピン2位、
世界で1001以上
- ❖ 2024 Edurank コンピューター・サイエンスのベ
スト大学フィリピン2位、世界2051位

パートナーシップ

- ❖ 108の 学界、政府、産業界（国内外）との協定
奈良先端科学技術大学院大学
トヨタ

研究グループ

- ❖ Networks and Distributed Systems Laboratory (NDSL) (ネットワーク・分散システム研究室) - コンピューター・ネットワーク、分散システム、組込みシステム全般に関する研究
- ❖ コンピューター・ビジョン&マシンインテリジェンスグループ (CVMIG)：人工知能に適した、または人工知能と密接に関連する方法をかなりの程度利用した計算を基礎とする計算システムの理解と構築
- ❖ サービス科学とソフトウェア工学研究室 (S3)：人、技術、情報、組織のダイナミックな相互作用を含む、サービスシステムの創造と提供における方法論、品質、その他の問題。
- ❖ Algorithms and Complexity Laboratory (ACL) (アルゴリズムと複雑性研究室)：研究分野は、自然コンピューティング（特にメンブレン・コンピューティングと量子アルゴリズム）、難問のアルゴリズム、バイオインフォマティクス、データ解析と可視化など。
- ❖ ウェブ・サイエンス・グループ (WSL)：研究テーマは、モバイルやモノのインターネット (IoT) を含むがこれに限定されない、あらゆるプラットフォームにおける、教育、ヘルスケア、都市環境に適用されるユーザビリティとユーザーエクスペリエンス、セマンティックウェブ、地理空間技術、リンクデータ、ビッグデータ、オープンデータなど。
- ❖ コンピューター・サイエンス研究室 (CSL)：セキュリティ・メカニズムとプロトコルを研究し、特に安全なアプリケーションの設計と開発に重点を置く。
- ❖ Automata, Computability and Logic Research Laboratory (ACLRL) (オートマトン・計算可能性・論理研究室)：計算可能性、オートマトン、組合せアルゴリズムの一般分野の研究を行う。
- ❖ サイエンティフィック・コンピューティング・ラボラトリー(SCL)：複雑なシステムの最適化、構成、設計のための数学的・数値的モデルを構築し、科学的・工学的問題の理解を深める。
- ❖ システム・モデリング&シミュレーション研究所 (SMSL)：Covid-19のワクチン配分の最適化、SDGs 目標相互作用のための分析とデータ収集を行う。

8.1 フィリピン大学ディリマン校

氏名	役職	研究関心分野
アルゴリズムと複雑性研究室		
Henry Adorna	教授	離散数学、オートマトンと形式言語理論、難問のアルゴリズム、自然計算、計算システム生物学
Francis George Cabarle	准教授	アルゴリズムの交錯、オートマトン、形式言語、自然計算、並列計算
Kelvin Buno	助教授	メンブレン・コンピューティング、オートマトン理論と形式言語
Jhoirene Clemente	助教授	バイオインフォマティクス、並列アルゴリズム、データマイニング
Nestine Hope Hernandez	助教授	ナチュラル・コンピューティング、組み合わせ相互接続ネットワーク
Ivy Ordanel	助教授	理論計算機科学、組合せ問題の複雑性とアルゴリズム
Alfonso Labao	助教授	アルゴリズムと複雑さ、暗号プロトコル、オートマトンと形式言語
コンピューター・セキュリティ・グループ		
Susan Pancho-Festin	教授	N/A
Caesarina Marie Calimbahin	助教授	組込みシステム、モノのインターネット (IoT)、サイバー物理システム、デジタルヘルス標準化と相互運用性
Philip Christian Zuniga	助教授	デジタルヘルス、デジタル公共財、ソフトウェア、相互運用性、コンピュータセキュリティ、アルゴリズムと複雑性
コンピューター・ビジョン・機械知能グループ		
Prospero Naval	教授	水中コンピューター・ビジョンとロボット工学、ディープラーニングの応用 ディープ強化学習、医療・環境・教育のためのデータ分析、確率的機械学習と意思決定、群ロボット工学とコンピューティング
Kristofer Delas Penas	助教授	コンピューター・ビジョン、多様体と表現学習、自動診断と検出、医用画像解析
Roselyn Gabud	助教授	テキストマイニング、自然言語処理、情報抽出、生物多様性情報学
Riza Rae Pineda	助教授	コンピューター・ビジョン、動物行動分析学
Carlo Raquel	助教授	進化計算、多目的最適化、機械学習
Paul Rossner Regonia	助教授	N/A

8.1 フィリピン大学ディリマン校

氏名	役職	研究関心分野
ネットワーク・分散システムグループ		
Cedric Angelo Festin	教授	N/A
Mario Carreon	助教授	ネットワーキング、ゲームベースの学習、自然言語処理、言語保存、拡張現実と仮想現実
Wilson Tan	准教授	組み込みネットワーク・システム、ソフトウェア定義ネットワーク、エッジ・コンピューティング、IoT、コンピューター・ネットワークにおける機械学習/AIの応用、ブロードバンドとインターネットの品質測定
科学計算研究所		
Adian Roy Baldez	准教授	偏微分方程式、数理モデリングとシミュレーション、数理経済学と金融、ゲーム理論、科学計算と数値解析、最適化と制御、量子情報理論と暗号理論
John Justine Villar	准教授	量子化学計算によるペプチド立体構造解析の数学的側面、計算ネットワーク生物学（PPIネットワークにおけるタンパク質複合体検出、化学反応ネットワーク理論）、高度道路交通システムの巨視的・中視的モデリング、バイオインフォマティクスとシステムバイオロジーにおける確率モデリング、数値最適化、グラフ理論の応用、代数的システム生物学（プロセス代数と自然計算）、反応速度論モデリング（生化学システム理論）
Jaymar Soriano	助教授	計算科学、神経科学、機械学習、複雑系 進化計算
サービス科学・ソフトウェア工学研究室		
Jaime Caro	教授	複雑性理論、組み合わせネットワーク理論、オンライン・コミュニティ eラーニング
Richelle Ann Juayon	助教授	メンブレン・コンピューティング、情報の可視化、ゲノム解析、ヘルスケアのためのVR、GPUコンピューティングとワークフローネット
Jozelle Addawe	助教授	データマイニングと知識発見、データ可視化、クラスタリング・アルゴリズム、ソフトウェア工学
システムモデリング・シミュレーション研究室		
Vena Pearl Bongolan	准教授	モデル化、海底の大量破壊と津波の発生、災害の連鎖、SDGs目標の相互作用、Covid-19：学校再開と予防接種のシナリオ
ウェブ・サイエンス・グループ		
Rommel Feria	准教授	データ・プライバシー、モバイル・コンピューティング、健康情報学、分散型コンピューティング
Ligaya Leah Figueroa	准教授	N/A
Rowena Solamo	助教授	ウェブ・サイエンス、コンピューター・サイエンスとソフトウェア工学教育、技術強化学習、説得力ある技術、インタラクション・デザイン

研究成果



Fish-i

Fish-i フィッシュアイ (Fish-I)

担当教員 プロスペロ・C・ナバル・ジュニア博士

Fish-iは、主にサンゴ礁のモニタリングに使用される、魚の個体数密度、種の同定、バイオマス推定を半自動化したシステムである。

Fish-iは、2023年11月に開催された経済産業省、ジェットロ、DTI主催のフィリピン-日本スタートアップピッチイベントに参加しました。



ImTS

没入型技術システム (ImTS)

VRを使用し、没入型技術システム (ImTS) を用いて、心理的症状を持つ患者や移動に制限のある患者にリハビリ技術を提供する。



ArangKaData

アランカデータ

ArangKaDataは、現代のPUVの車載技術が生み出す価値を最大化し、通勤者、運行事業者、規制当局の利益に貢献することを目指している。

ローカルSIM

LocalSIMは、新たな交通需要に対応するためにインフラに必要な調整を決定するためのミクロな分析を提供します。



LocalSIM

VBTS

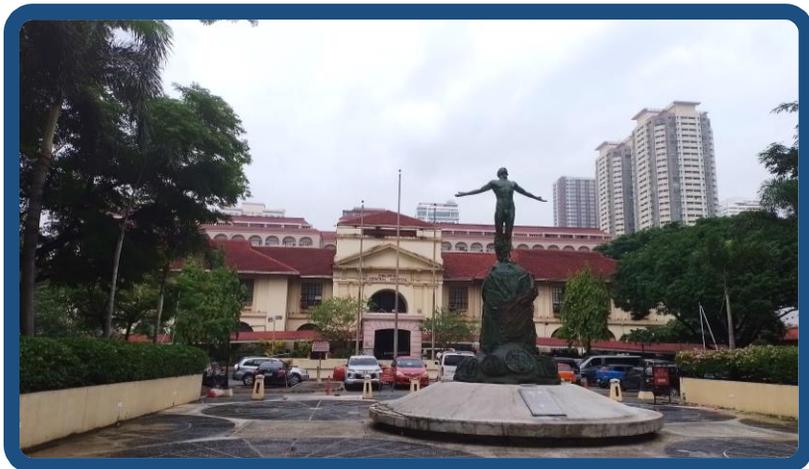
村落ベースの電話通信システムは、オーロラ・フィリピンの少数の遠隔バラングイに基本的な携帯電話通信を提供することを目的としている。

Handum

Handumは、標準化されたDepEdの「疾病と障害の予防と管理」領域のディスカッションを補足するゲームベースの学習ツールを提供する。

8.2 フィリピン大学マニラ校

フィリピン大学マニラ校 (UPM)



写真：ジェットロマニラ事務所撮影

大学情報

住所：Zone 72, 670 Padre Faura St, Ermita, Manila, 1000 Metro Manila

設立年：1983

分類：公立

Eメール：upm-ippao@up.edu.ph

ウェブサイト：www.upm.edu.ph

電話：(+63) 2 8524 0534



6,724

在籍生徒数
AY 2023-2024



1,423

卒業生徒数
AY 2022-2023

概要

フィリピン大学マニラ校 (UPM) は、保健医療専門職の教育、訓練、研究など、保健科学分野におけるフィリピンの中心的存在である。1905年にフィリピン医科大学として設立され、その後1907年にUPカレッジ・オブ・メディシン・アンド・サージェリー (UP College of Medicine and Surgery) と改称された。1983年、UPMはUPDに次ぐUPシステム第2番目の構成大学として設立された。

UPMはフィリピン総合病院 (PGH) を運営している。PGHは国立大学病院であり、フィリピンの三次医療における国立紹介センターである。PGHは国内最大の近代的な政府第三次病院とされ、年間60万人以上の患者にサービスを提供している。

アカデミック・プログラム

科学と工学、社会科学、マネージメント、教育、法律、芸術と文学

ランキング



2025 QS世界大学ランキング
世界336位
フィリピン第1位



THE世界大学ランキング
世界401-600位
フィリピン第2位

日本との関係

日本語コース

- ❖ UPMラーニング・リソース・センターでは、UPMの学生と従業員を対象に、初級日本語コースを無料で提供しています。

日本の機関・大学との連携

- ❖ UPマニラ校は日本の教育機関/大学と15の提携関係を結んでいる。

リクルート情報

キャリア・フェア

頻度：年1回、時期：3月
<https://www.upm.edu.ph>

担当窓口

UP Manila Guidance and Counseling Program
guidance.upm@up.edu.ph

8.2 フィリピン大学マニラ校

物理科学数学部(DPSM)

概要

物理科学・数学学科 (DPSM) は、コンピューター・サイエンス、健康情報学、バイオインフォマティクス、数学、統計学、化学、生化学、物理学、地質学の学部および大学院レベルの研究・教育の中心である。

DPSMは、化学ユニット、数学・計算科学ユニット、物理学・地質学ユニットの3つのユニットで構成されている。

学部長: Marie Josephine M De Luna, PhD

学部Eメール: dpsm-cas@upm.edu.ph

数学&コンピューター・サイエンス・ユニット長:

Vio Jianu Mojica

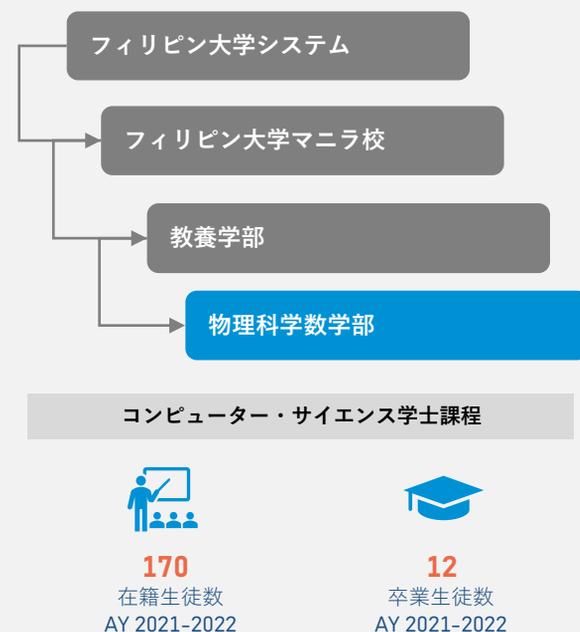
取得可能な学位と専攻・研究分野

● 学士 ● 修士 ● 博士

● 応用物理学 (保健物理学)

● 生化学

● コンピューター・サイエンス



● 応用物理学 (医学物理学)

● バイオ・インフォマティクス

● コンピューター・サイエンス

認定

- ❖ 2024 THE世界大学ランキング
 - ❖ コンピューター・サイエンス部門フィリピン2位
 - ❖ 世界で1001以上
- ❖ 2024 Edurank コンピューター・サイエンスのベスト大学
 - ❖ フィリピン2位
 - ❖ 世界2051位
- ❖ PAASCU Level I 認定(2018)

研究グループ

- ❖ 応用数学・人工知能研究室 (AMAI) - 数学的モデリング、最適化、データサイエンス、機械学習、自然言語処理など、応用数学と人工知能技術の探求と応用により、様々な分野の実世界の問題を解決する。
- ❖ 計算生物学グループ - 計算生物学、生物統計学、ネットワーク分析、機械学習により、大規模な生物学的データのコレクションを分析。
- ❖ セキュリティ・暗号グループ - 暗号アルゴリズムの開発、解析、セキュリティへの応用。主な研究分野は、格子ベース暗号、同型暗号、ブロックチェーン技術など。

8.2 フィリピン大学マニラ校

氏名	役職	研究関心分野
*日本の教育機関で学位を取得している場合には水色で大学名と学位を記載している。		
応用数理・人口知能研究室		
Therese Anne Basco-Uy (Lab Head)	助教授	最適化、信号処理と画像処理
計算生物学研究		
Vio Jianu Mojica	助教授	空間分析、時系列分析
Geoffrey Solano	准教授	グラフ理論、グラフアルゴリズム、グラフマイニング、組合せ最適化、バイオインフォマティクス、バイオインフォマティクスのための機械学習、システムバイオロジー、近似アルゴリズム
セキュリティ・暗号研究グループ		
Richard Bryann Chua	助教授	アルゴリズム、暗号理論、複雑性理論、コンピュータセキュリティ
その他		
Alex Gonzaga	教授	統計的信号解析、ウェーブレット解析、長期記憶プロセス確率変動、グラフ理論 上智大学卒業 工学博士
Vincent Peter Magboo	教授	n/a
Joey Mark Diaz	准教授	n/a
Ma. Sheila Magboo	准教授	データサイエンス、機械学習、ディープラーニング、ビジュアルイゼーション、情報システム
Genrev Josiah Villamin	助教授	n/a
Gregorio Raymundo III	助教授	n/a
Liza Briones	助教授	統計、モデリング

8.3 フィリピン大学マニラ校

フィリピン大学ロスバニョス校(UPLB)



写真：ジェットロマニラ事務所撮影

大学情報

住所: Pedro R. Sandoval Ave, Los Baños, 4031 Laguna

設立年: 1909

分類: 公立

Eメール: uplb@up.edu.ph

ウェブサイト: www.uplb.edu.ph

電話: (+63) 49 536 3604



15,099人



1,805人

在籍生徒数
AY2023-2024

卒業生徒数
AY 2022-2023

概要

フィリピン大学ロスバニョス校（UPLB）は、男女共学の公的資金による学術・研究・普及機関で、フィリピン大学システムを構成する8大学のひとつである。

UPLBは1909年に農業大学としてスタートした。UPLBは1908年以降に組織された最初のUPユニットのひとつであり、国内最古の農林学校である。

アカデミック・プログラム

科学と工学、社会科学、マネジメント、教育、農業・漁業、芸術と文学

ランキング



2025 QS世界大学ランキング
世界336位
フィリピン第1位



THE世界大学ランキング
世界401-600位
フィリピン第2位

日本との関係

日本語コース

N/A

日本の機関や大学との関係

フィリピン大学ロスバニョス校は17の日本の機関や大学と関係を持つ。

リクルート情報

キャリア・フェア

頻度：年1回

時期：4月

<https://www.facebook.com/uplbcap/>

担当窓口

UPLB Office of the Chancellor for Student Affairs

ovcsa.uplb@up.edu.ph

キャリア・フェア参加企業(2024)

Accenture, FirstGen, AboitizPower, Samsung, Nestle, JPMorgan Chase & Co., Analog Devices

産業界パートナー企業

Integrated Micro Electronics, GF Micro Optics

8.3 フィリピン大学マニラ校

コンピューター・サイエンス学部

概要

コンピューター・サイエンスがUPLBで初めて学問分野として認められたのは、1982年に数理科学物理学研究所（Institute of Mathematical Sciences and Physics：IMSP）が設立され、その一部門としてコンピューター・サイエンス部門が設置された時である。

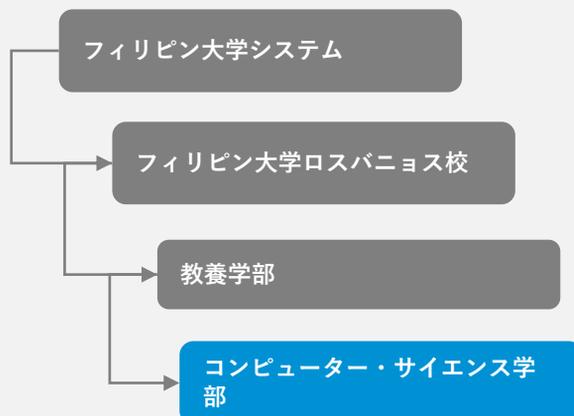
学部長: Maria Art Antonette Clarino

学部のEメール: ics.uplb@up.edu.ph

取得可能な学位と専攻・研究分野

● 学士 ● 修士 ● 博士

- コンピューター・サイエンス
- コンピューター・サイエンス
- 情報技術
- コンピューター・サイエンス



	在籍生徒数 AY 2022- 2023	卒業生徒数 AY 2021- 2022
● コンピューター・サイエンス	753	52
● コンピューター・サイエンス	20	N/A
● 情報技術	22	2
● コンピューター・サイエンス	3	N/A

認定

- ❖ 2024 THE世界大学ランキング コンピューター・サイエンス部門 フィリピン2位、世界で1001位以上
- ❖ 2024 Edurank コンピューター・サイエンスのベスト大学 フィリピン2位、世界2051位
- ❖ CHED IT教育センター・オブ・エクセレンス

研究成果

BANATECH：ラカタン種とサバ種／カルダバの収穫日推定のためのデータ駆動型プログレッシブ・ウェブ・アプリケーション

Banatechは、「ラカタン種」と「サバ種」バナナの収穫日を決定するために使用されるモバイルアプリである。サプライチェーン上の様々なステークホルダーにとって有用な意思決定支援ツールである。バナナ農家は、指定された時間に収穫可能な房の数を予測し、効率的な農場計画を立てることができる。

8.3 フィリピン大学マニラ校

Name	Tenure	Research Interests
Aldrin Joseph Hao	助教授	WebGIS、リモートセンシング、機械学習
Arian Jacildo	助教授	アルゴリズムの設計と解析、並列コンピューティング、バイオインフォマティクス、コンピュータ・シミュレーションとモデリング、情報システム
Ariel Doria	助教授	デジタル・イメージ処理、機械学習
Carlo Tumibay	助教授	データサイエンス、データベースシステム、ファイナンシャル・コンピューティング
Concepcion Khan	准教授	デジタル農業、データマイニング、人工知能、情報システム
Danilo Mercado	助教授	インターネット・セキュリティ、データ管理、データ・ネットワーク、モノのインターネット
Fermin Roberto Lapitan	助教授	ウェブ開発、情報システム
Jaderick Pabico	教授	並列計算、計算知能、ロボティクス、ネットワーク科学
Jaime Samaniego	准教授	組合せアルゴリズム、組合せ最適化のためのヒューリスティック手法
John O-Neil Geronimo	助教授	デジタル・イメージ処理
John Patrick Albacea	助教授	画像処理、モノのインターネット (IoT)、データ管理
Joseph Anthony Hermocilla	助教授	オペレーティング・システム、コンピューター・ネットワーク、サイバー・セキュリティ
Juan Miguel Bawagan	助教授	アルゴリズム、情報技術
Lei Kristoffer Lactuan	助教授	情報技術、情報システム、デジタル画像処理、離散数学
Margarita Carmen Paterno	助教授	画像処理、ニューラルネットワーク、量子コンピューティング
Maria Art Antonette Clarino	准教授	エージェントベース・モデリングとシミュレーション、デジタル画像解析、自然言語処理、機械学習
Mylah Rystie Anacleto	助教授	バイオインフォマティクス、Web開発、データリポジトリ/データベース
Rachel Edita Roxas	教授	コンピュータサイエンス、開発のためのIT、自然言語処理
Reginald Neil Recario	助教授	データベースシステム、ソフトウェア・エンジニアリング、人工知能、コンピューター・ビジョン、データサイエンス
Rizza Mercado	助教授	デジタル画像解析、機械学習
Rodolfo Camaclang	助教授	環境情報学、水質管理、機械学習
Val Randlof Madrid	准教授	機械学習、コンピュータービジョン、画像処理
Zenith Arnejo	助教授	エージェントベース・シミュレーション、森林モデリング、プロセスマイニング、プログラミング言語

8.4 フィリピン大学 オープン・ユニバーシティ

フィリピン大学 オープン・ユニバーシティ(UPOU)



写真：ジェットロマニラ事務所撮影

大学情報

住所：Los Baños, Laguna, Philippines
(Virtual Campus)

設立年：1995

分類：公立

Eメール：inquiries@upou.edu.ph

ウェブサイト：www.upou.edu.ph

電話：(+63) 49 536 6001



5,139人



580人

在籍生徒数
AY 2023-2024

卒業生徒数
AY 2022-2023

概要

1995年に設立されたフィリピン大学オープンユニバーシティ (UPOU) は、オンライン教育と学習のパイオニアであり、フィリピンにおけるオープンラーニングと遠隔教育の研究と実践において主導的な役割を果たし続けている。

UPOUはまた、革新的な教育戦略や技術を開発し、協力プログラムを通じて他のカレッジや大学と共有することにより、国の教育システムの質の向上に貢献することを義務付けられている。

UPOUはまた、認定プログラム、継続教育プログラム (CEP)、大規模公開オンラインコース (MOOC) も提供している。

アカデミック・プログラム

科学と工学、社会科学、マネジメント、教育、芸術と文学

ランキング



2025 QS世界大学ランキング
世界336位
フィリピン第1位



THE世界大学ランキング
世界401-600位
フィリピン第2位

リクルート情報

N/A

日本との関係

日本語コース
N/A

日本の機関や大学との関係

- ❖ UPOUは金沢大学や東京外国語大学と連携している

8.4 フィリピン大学 オープン・ユニバーシティ

情報コミュニケーション学部(FICS)

概要

情報コミュニケーション学部(FICS)は、東南アジアにおける情報コミュニケーション学分野の発展に貢献するリーディング機関です。2004年の設立以来、FICSは革新的なプログラムの開拓、インパクトのある研究の実施、必要不可欠なコミュニティ・サービスの提供に取り組んでいます。

学部長： Diego Silang S. Maranan, PhD.

学部のEメール： fics@upou.edu.ph

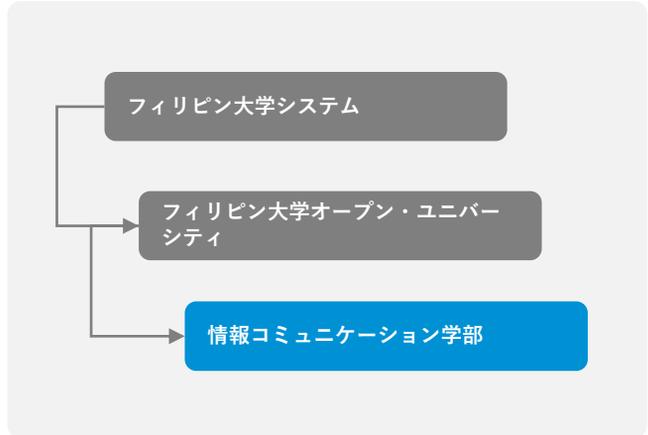
取得可能な学位と専攻・研究分野

● 学士 ● 修士 ● 博士

- コンピューター・サイエンス*
- 情報技術**
- デジタル・デザインとアート**
- マルチメディア研究

- コンピューター・サイエンス
- 情報システム
- 開発コミュニケーション
- 開発コミュニケーション

*ディプロマ：1年間のプログラム修了時に取得できる学位。 **アソシエイト：2年間のプログラム修了時に取得できる学位。



認定

- ❖ 2024 THE世界大学ランキング
 - ❖ コンピューター・サイエンス部門フィリピン2位
 - ❖ 世界で1001以上
- ❖ 2024 Edurank コンピューター・サイエンスのベスト大学
 - ❖ フィリピン2位
 - ❖ 世界2051位

FICSは多様な分野で最先端の研究を行っている。FICSの研究分野には、MOOCs（大規模公開オンラインコース）、デジタルコミュニティ、芸術科学とSTEAM（Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学・ものづくり）、Art（芸術）、Mathematics（数学））、学習管理システム、教育技術、芸術とデジタル人文学などがあります。FICSはまた、応用空間コンピューティング、モノのインターネット、オープン&ディスタンス・ラーニング（ODL）におけるAIベースの教育法、説明可能な人工知能にも焦点を当てています。

フィリピン語クラスの生徒を対象としたバーチャルリアリティを利用した写真撮影ツアーの実証: 日本における緊急遠隔授業の事例

ロベルト・フィゲロア博士

日本の大学でフィリピン学を履修している日本人学生を対象に、没入感や臨場感を得るためによく研究される没入型技術であるバーチャルリアリティをベースにした認知的イノベーションを用いてフィリピン語の語彙を教えた緊急遠隔授業のケーススタディ。学生は3つのグループに分かれ、バーチャルリアリティの写真を使ったツアーを中心にデザインされた6つの授業を、異なる没入レベルで体験した。満足度に対する没入感の効果は統計的に有意ではなかったが、臨場感と満足度には相関関係があることがわかった。課題にもかかわらず、生徒からは、楽しさ、関与の増加、学習の認識といった利点が報告された。私たちの発見は、遠隔学習の空間的制限によって生じるギャップに対応しながら、人間の経験の感情的および認知的側面を強化するために、新たな多感覚技術がどのように使用できるかを例証するものである。

8.4 フィリピン大学 オープン・ユニバーシティ

氏名	役職	研究関心分野 <small>*日本の教育機関で学位を取得している場合には水色で大学名と学位を記載している。</small>
インフォメーション・コミュニケーション学部		
Diego Maranan	准教授	インタラクティブ・アートとデザイン、ヒューマン・コンピュータ・インタラクション、身体化認知、ウェアラブル・テクノロジー、ソマティック・リサーチ、デザイン思考、システム思考、未来思考、アートサイエンスとサイアート
Mari Anjeli Crisanto - Program Chair DCS	助教授	ウェブ情報システム、学習管理システム、共同メディア、MOOC、品質保証、持続可能なシステム
Ria Borromeo	准教授	データ工学; クラウドソーシング・プロセス管理; ハイブリッド・ヒューマン・コンピュータ・システム; データベースにおける知識発見
Myra Almodiel	准教授	オープン&ディスタンスeラーニング、アナリティクス、データマイニング、ネットワーク分析、開発コミュニケーション、共同学習、VR 工学博士 - 慶應義塾大学
Roberto Figueroa	准教授	没入型オープン教育法、持続可能性のための没入型テクノロジー、教育におけるバーチャルリアリティ、メタバースにおける学習、オンライン国際共同学習 国際基督教大学 教育工学博士
Joyce Manalo	助教授	インターネット技術、デジタル文化、メディアデザイン、ウェブ開発
Reinald Adrian Pugoy	准教授	人工知能（自然言語処理、機械学習、推薦システム、教育におけるAI）、eラーニングプラットフォーム（学習管理システム）
Cecille Moldez	助教授	情報技術、数学、データ分析、ODeLにおけるゲーミフィケーション
Al Francis Librero	助教授	技術強化学習、オンライン学習コミュニティと実践コミュニティ、環境、マルチメディア制作、学習管理システム、共同メディア、MOOC、品質保証、持続可能なシステム
Gabriel Sampedro	助教授	組込みシステム、機械学習、モノのインターネット、積層造形、ロボティクス テクノプレナーシップ、デザイン思考
Maria Maura Tinao - Program Chair AIT	助教授	データサイエンス、データ分析、図書館情報学
Blancaflor Arada	助教授	フィジカル・コンピューティング、ゲーム開発、新興技術、都市・自治体競争力指数
Ruth Rodriguez	助教授	ポスト・コンテンポラリー・アート、神経美学とニューロマーケティング、包括的資本主義、オピニオン・マイニング
Jean Saludadez	教授	組織を構成するものとしてのコミュニケーション、エージェントとしてのデジタルメディア、公開・遠隔eラーニング、研究開発マネジメント、ASEAN研究
Melinda Bandalaria	教授	アドボカシーと社会動員、CSRコミュニケーション、オンライン教育と学習、ICT4D、遠隔教育、開発コミュニケーション、テレセンター、教育、テクノロジー、フィリピン
Luisa Gelisan	助教授	教育におけるマルチメディア; 開発コミュニケーション技術と教育
Roda Tajon	助教授	メディア研究、ジェンダーと開発、開発コミュニケーション

9. フィリピン工科大学

フィリピン工科大学 (PUP)



写真：ジェトロマニラ事務所撮影

大学情報

住所：1016 Anonas, Sta. Mesa, Maynila, Kalakhang Maynila

設立年：1904

分類：Public

Eメール：inquire@pup.edu.ph

ウェブサイト：www.pup.edu.ph/

電話：(+63) 2 8735 5471



49,265



N/A

在籍生徒数
AY 2023-2024

卒業生徒数

概要

PUPは1904年にマニラ・ビジネス・スクールとしてスタートした。後にフィリピン商科学校と改称され、1933年にフィリピン師範学校と合併した。1952年、フィリピン工科大学（Polytechnic University of the Philippines）として認可された。

同大学は、応用研究、高度な研究、進歩的な研究を推進している。PUPは、ラダー型高等職業教育や遠隔教育（オープンユニバーシティ）も提供している。

アカデミック・プログラム

会計・財務、建築、芸術と文学、経営学、コミュニケーション、コンピューター・情報科学、教育、エンジニアリング、ヒューマン・キネティクス、法律、社会科学、科学、観光とホスピタリティ

ランキング



2024 QSアジア大学
ランキング 世界551-600位
フィリピン第5位

日本との関係

日本語コース：N/A

日本の機関や大学との関係

- ❖ 鹿児島大学と覚書を締結。
- ❖ ニトリと提携し学生に奨学金を提供。

リクルート情報

キャリア・フェア

頻度：N/A

<https://www.facebook.com/pupcareer>

担当窓口

PUP Career Center

career_alumni@pup.edu.ph

産業界パートナー企業(2024)

Department of Trade and Industry,
WeSupport Inc., ABBA Personnel Services
Inc., The Backroom Offshoring Inc., Equitable
Computer Services, Inc.

9. フィリピン工科大学

コンピューター・情報科学学部

概要

コンピューター情報科学学部（CCIS）は、フィリピン工科大学がフィリピン商科大学として知られていた1969年に設立された。コンピューター情報科学学部は、以前、会計学部に属し、メイン・フレーム・コンピューターが会計処理に使用されていた。

学部長： Melvin Roxas

学部Eメール： ccis@pup.edu.ph

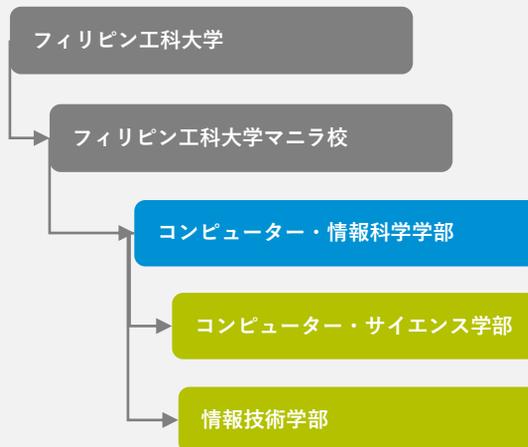
コンピューター・サイエンス部門長： Montaigne Molegon

情報技術部門長： John Dustin Santos

取得可能な学位と専攻・研究分野

● 学士 ● 修士

- 情報技術
- コンピューター・サイエンス
- 情報技術
 - データ分析
 - 情報セキュリティ



	在籍生徒数 AY 2022-2023	卒業生徒数 AY 2021-2022
● コンピューター・サイエンス	929	199
● 情報マネジメント	1,301	161
● 情報技術	23	N/A

認定

- ❖ AACUPレベルIV 認定（コンピューター・サイエンス学士）
- ❖ AACUPレベルIV 認定（情報技術学士）

注）AACUP (Accrediting Agency of Chartered Colleges and Universities in the Philippines) は、州立大学向けの認定機関である。

10.1 フィリピン工業大学マニラ校

フィリピン工業大学マニラ校



写真：ジェットロマニラ事務所撮影

大学情報

住所：363 Casal St, Quiapo, Manila,
1001 Metro Manila

設立年：1962

分類：私立

Eメール：info@tip.edu.ph

ウェブサイト：www.tip.edu.ph/

電話：(+63) 2 8911 0964



8,944

在籍生徒数
AY2021-2022



N/A

Graduates

概要

フィリピン工業大学 (T.I.P.) は、国内屈指のエンジニアリング・スクールであり、エンジニアリングの卓越性だけでなく、建築、コンピューター研究、ビジネス、教育、芸術など、多様な学部課程を持つことでも知られている。その後、同校は技術分野の専門化を目指した。1967年、マニラ、キアポのG.プヤット通りに本校を設立した。

アカデミック・プログラム

エンジニアリング, 建築, コンピューター研究, ビジネス, 教育, アート

日本との関係

日本語コース

N/A

日本の機関や大学との関係

N/A

リクルート情報

キャリア・フェア

頻度：年一回

時期：6月、7月

<https://www.facebook.com/TIPCareerCenter/>

担当窓口

TIP Career Center

careercenter@tip.edu.ph

キャリア・フェア参加企業 (2023)

Accenture Inc., Indra, Emerson, BDO,
Converge, Teleperformance, Abenson, etc.

10.1 フィリピン工業大学マニラ校

コンピューター研究学部

概要

コンピューター・サイエンス・プログラムは、情報とコンピューティング・ソリューションの概念と理論、アルゴリズムの基礎、実装と応用に重点を置いている。

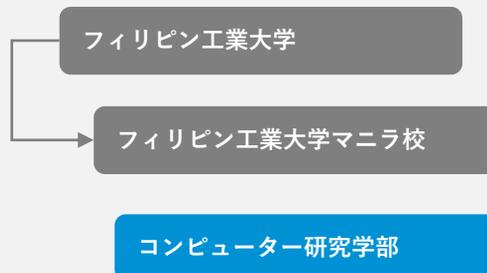
このプログラムでは、ITの専門家や研究者となり、コンピューティング・ソリューションの設計と開発に熟達するための準備を行う。

学部長：Larry A. Vea

取得可能な学位と専攻・研究分野

● 学士

- コンピューター・サイエンス
インテリジェント・システム
ゲーム開発
データ・サイエンス
- コンピューター・データ・サイエンス、アナリティクス
財務分析
ソーシャルメディア分析
バイオメディカルとヘルス・アナリティクス
- 情報技術
アニメーション、モバイルアプリ開発
サイバー・セキュリティ
デジタルアートとデザイン
- 情報システム
ビジネス・アナリティクス
プロジェクト管理



	在籍生徒数 AY 2022-2023	卒業生徒数 AY 2021-2022
● コンピューター・サイエンス	208	37
● 情報システム	19	5
● 情報技術	609	90

認定

- ❖ CHED IT教育センター・オブ・エクセレンス
- ❖ PACUCOA レベルIV コンピューター・サイエンス (2022-2027年)
- ❖ PACUCOAレベルIV情報技術 (2021-2026年)
- ❖ PACUCOレベルIV情報システム (2022-2027年)
- ❖ ABETコンピューター・サイエンス認定
- ❖ コンピューター情報システムに関するABET認定
- ❖ 情報技術に関するABET認定
- ❖ コンピューター・サイエンスのPICAB認定
- ❖ 情報システムに関するPICAB認定
- ❖ 情報技術に関するPICAB認定

パートナーシップ

Cisco、IBM、Oracle、シーメンス、SAP、Philippine Software Industry Association、ヤップスターeラーニングセンター、フィリピン国家IT標準化連合会などなどの業界パートナー。

10.2 フィリピン工業大学マニラ校

フィリピン工業大学ケソン校(TIP QC)



写真：フィリピン工業大学提供

大学情報

住所: 938 Aurora Boulevard, Cubao, Quezon City

設立年: 1611

分類: 私立

Eメール: info@tip.edu.ph

ウェブサイト: www.tip.edu.ph/

電話: (+63) 2 8911 7199



13,353



N/A

在籍生徒数
AY2021-2022

Graduates

概要

フィリピン工業大学 (T.I.P.) は、国内屈指のエンジニアリング・スクールであり、エンジニアリングの卓越性だけでなく、建築、コンピューター研究、ビジネス、教育、芸術など、多様な学部課程を持つことでも知られている。その後、同校は技術分野での専門化を目指した。T.I.P. ケソンシティ校は1983年に開校した。

アカデミック・プログラム

エンジニアリング、建築、コンピューター研究、ビジネス、教育、アート

日本との関係

日本語コース
N/A

日本の機関や大学との関係
N/A

リクルート情報

キャリア・フェア

頻度: 年一回

時期: 6月、7月

<https://www.facebook.com/TIPCareerCenter/>

担当窓口

TIP Career Center
careercenter@tip.edu.ph

キャリア・フェア参加企業 (2023)

Accenture Inc., Indra, Emerson, BDO, Converge, Teleperformance, Abenson, etc.

コンピューター研究学部

概要

コンピューター・サイエンス・プログラムは、情報とコンピューティング・ソリューションの概念と理論、アルゴリズムの基礎、実装と応用に重点を置いている。

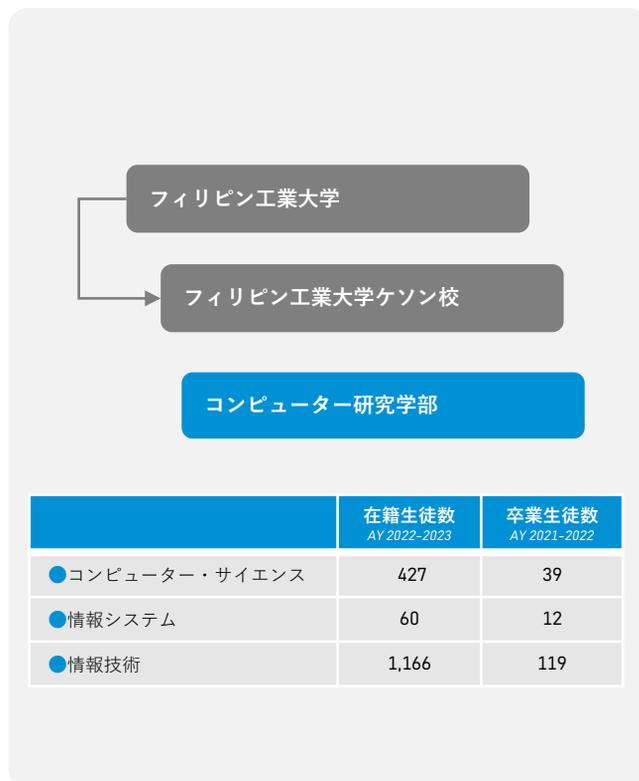
このプログラムでは、ITの専門家や研究者となり、コンピューティング・ソリューションの設計と開発に熟達するための準備を行う。

学部長：Felizardo C. Reyes Jr.

取得可能な学位と専攻・研究

● 学士

- コンピューター・サイエンス
インテリジェント・システム
ゲーム開発
データ・サイエンス
- コンピューター・データ・サイエンス、アナリティクス
財務分析
ソーシャルメディア分析
バイオメディカルとヘルス・アナリティクス
- 情報技術
アニメーション、モバイルアプリ開発
サイバー・セキュリティ
デジタルアートとデザイン
- 情報システム
ビジネス・アナリティクス
プロジェクト管理



認定	パートナーシップ
<ul style="list-style-type: none"> ❖ CHED IT教育センター・オブ・エクセレンス ❖ PACUCOA レベルIV コンピューター・サイエンス (2022-2027年) ❖ PACUCOAレベルIV情報技術 (2021-2026年) ❖ PACUCOレベルIV情報システム (2022-2027年) ❖ ABETコンピューター・サイエンス認定 ❖ コンピューター情報システムに関するABET認定 ❖ 情報技術に関するABET認定 ❖ コンピューター・サイエンスのPICAB認定 ❖ 情報システムに関するPICAB認定 ❖ 情報技術に関するPICAB認定 	<p>Cisco、IBM、Oracle、Siemens、SAP、Philippines Software Industry Center、Yapster e learning center、Philippine National Information Technology Standards Foundation etc.</p>

アダムソン大学

- 帝京大学

出所： <https://www.teikyo-u.ac.jp/en/topics/2023/0524-1>

アテネオ・デ・マニラ大学

- 国際教養大学
- 青森中央学院大学
- 青山学院大学
- 千葉大学
- 中央大学
- 同志社大学
- 同志社女子大学
- 福岡女子大学
- 一橋大学
- 国際基督教大学
- 山梨学院大学国際リベラルアーツ
- 桜美林大学
- 城西国際大学
- 金沢大学
- 関西外国語大学
- 神戸女学院大学
- 神戸親和大学
- 神戸大学

- 熊本学園大学
- 熊本大学
- 関西学院大学
- 九州大学
- 京都大学
- 明治大学
- 長崎大学
- 名古屋学院大学
- 南山大学
- 新潟大学
- 立教大学
- 立命館アジア太平洋大学
- 西南学院大学
- 創価大学
- 上智大学
- 東京外国語大学
- 東洋大学
- 筑波大学
- 早稲田大学

順不同

出所： <https://global.ateneo.edu/partnerships/office-of-university-and-global-relations/linkages>

イースト大学

- 愛知学院大学
- 長崎大学

順不同

出所： <https://www.ue.edu.ph/mla/offerings/>

サント・トーマス大学

- 千葉大学
- 獨協医科大学
- エリザベト音楽大学
- 岐阜大学
- 比治山大学
- 広島大学
- 京都府立医科大学
- 京都大学 化学研究所

- 名古屋市立大学
- 新潟医療福祉大学
- 大分大学
- 総合地球環境学研究所
- 東京海洋大学
- 滋賀県立大学
- 横浜国立大学

順不同

出所： <https://www.ust.edu.ph/linkages/>

デ・ラ・サール大学

- 同志社大学
- 福岡大学
- 北海道大学
- 茨城大学
- 神戸大学
- 国土館大学
- 名城大学

- 日本大学
- 帯広大学
- 大阪大学
- 立命館大学
- 創価大学
- 東京工業大学
- 早稲田大学

順不同

出所：<https://www.dlsu.edu.ph/linkages/>

フィリピン大学ディリマン校

- 秋田大学
- 中央大学
- 宮崎大学
- 横浜国立大学
- 東海大学情報技術センター
- 静岡大学
- 総合地球環境学研究所
- 愛媛大学
- 熊本大学
- フェリス女学院大学
- 同志社大学
- 広島大学
- 日本福祉大学
- 同志社女子大学
- 創価大学
- 奈良女子大学

- 長崎大学
- 東海大学
- 京都大学
- 九州工業大学
- 熊本大学
- 名城大学
- 東京海洋大学
- 東京工業大学
- 理化学研究所
- 日本体育大学
- 政策研究大学院大学
- 東京農工大学

順不同

出所：<https://international.upd.edu.ph/partners/international-partners/>

フィリピン大学マニラ校

- 群馬大学
- 国際医療福祉大学
- 日本赤十字広島看護大学
- 神戸大学
- 三重大学
- 長崎大学
- 国立国際医療研究センター
- 日本薬科大学

- 帯広畜産大学
- 創価大学
- 東北大学
- 日本医科歯科大学
- 東京都立大学
- 琉球大学
- 横浜市立大学

順不同

出所：<https://www.upm.edu.ph/intl-oil-programs/>

フィリピン大学ロスバニョス校

- 千葉大学
- 千葉工業大学
- 県立広島大学、西条農業高等学校
- 吉備国際大学
- 神戸大学
- 高知大学
- 熊本大学
- 京都大学大学院経済学研究科・経済学部
- 京都大学総合博物館

- 長崎大学
- 名古屋大学
- 愛媛大学
- 大阪大学大学院工学研究科
- 株式会社新日本科学
- 東京都立大学
- 東京農業大学
- 新潟県立大学

順不同

出所：<https://international.uplb.edu.ph/partners/>

マプア大学

- 岡山大学
- 東洋大学

出所： <https://icep.mapua.edu.ph/InternationalPrograms/AcademePartners.aspx>

フィリピン工科大学

- 鹿児島大学

出所： https://www.kagoshima-u.ac.jp/en/university_outline_eng.pdf

本ディレクトリー利用についての注意・免責事項

- 本ディレクトリーに掲載されている内容は発行日時点のものであり、閲覧時に一部変更が生じている可能性があることをご了承ください。
- ジェトロは、その内容および本カタログを利用したことによって生じたいかなる損害についても一切責任を負いません。
- 本カタログは利益目的での第三者への転用・流用などを禁じます。

JETRO Manila